

【武田先生と里山を歩こう会】2022年度年間スケジュール

2021/12/03現在

| | 目的地 [行事] | 集 合 | 備 考 |
|-----------------------|---|---|--|
| 4月15日 (金) [会員総会含む] | 「兵庫県立三木山森林公園」 (昼食；和食バイキングレストラン 1,550円 - 飲み物別) | 現地10：10集合 神戸電鉄恵比須駅：9時39分着 (三木市バス59番三木営業所行き10時00分発乗車 - 森林公園：10時10分着=210円) | 2019,20,21年度実施 ルート コバノミツバツツジ |
| 5月 13日 (金) | 「保久良さん(神社)」 | 阪急・岡本駅10時集合 | 新規 1.4km、徒歩24分 |
| 6月 3日 (金) | 「丸山湿原」 西谷の森公園口B.S～丸山湿原～西谷 の森公園口B.S | JR武田尾駅；10：25集合 (阪急バス上佐曾利行き10時35分発乗車 -西谷の森公園口；10時45分着 - 340円) | 2019年度実施ルート 歩行4～5km (トキノウ、カキラン期 待) |
| 7月 | 「夏休み」⇒有志で実施予定 | | |
| 7月 1日 (金) | 「六甲高山植物園」 | 阪急・六甲/神戸市営バス09:58発→六甲カーデ ンテラス/六甲山観光バス10:47着 (1,070円) | 有志で実施予定 |
| 8月 5日 (金) | 県下最大級 「網引(あびき)湿原」 散策コース | 北条電鉄・網引駅、10:20集合 網引駅～約25分～伏見山～約30分～「あびき湿 原」散策～約30分～糠塚古墳～約20分～北条鉄 道・網引駅～約1時間45分) | 新規 「新日本歩く道紀行 100選～水辺の道～」 ヒメタイコウチ、ハッ チョウトンボ、サイコ クヒメコウホネ |
| 9月 2日 (金) | 「京都府立植物園」 | 京都府立植物園・北山門前10時集合 JR「京都駅」、近鉄「京都駅」、阪急「烏丸 駅」から京都市営地下鉄「北山駅」下車3番出口 すぐ | 新規 共通券(植物園・陶板 名画の庭) 250円 |
| 10月 7日 (金) | 「兵庫県立三木山森林公園」 (昼食；和食バイキングレストラン 1,550円 - 飲み物別) | 現地10：10集合 神戸電鉄恵比須駅：9時39分 (三木市バス59番三木営業所行き10時00分発乗車 - 森林公園：10時10分着=210円) | 2019,20,21年度実施 ルート フジバカマ、キキョウ |
| 11月 18日 (金) | 国営明石海峡公園神戸地区 「あいな里山公園」 入園料=一般450円、65歳以上210円 | 現地10：10集合 例【JR 三宮駅】から市バス66系統で約30分 乗車料金490円 行き 三宮センター街東口発 しあわせの村行き9：44 帰リ 病院前(しあわせの村)発 貿易センタービル行き 14:52 or 15:18 | 2020年度実施ルート 三宮センター街東口バ ス乗り場案内 https://www.city.kobe.lg.jp/documents/3429/sannnomiya_2021_7.pdf |
| 12月 9日 (金) | 「神戸市立森林植物園」 入園料=大人(15歳以上) 300円 *兵庫県内に居住し65歳以上の方で公 的機関が発行する証明書をお持ちの方 は無料です。 (例) 老人手帳・運転免許証・パス ポート・健康保険証等 | 現地10：15集合 神戸電鉄・北鈴蘭台駅；9：55着 (無料送迎バス10時05分発乗車) 北鈴蘭台駅⇄森林植物園(所要時間 約10分)定 員55名(座席37席) | 2021年度実施ルート (紅葉期待) |
| 1月 | 「冬休み」 | | |
| 2月 3日 (金) | 「大阪市立大学附属植物園」 入園料=大人350円 | 京阪交野線・私市駅；10時集合 京阪交野線「私市(きさいち)」下車、徒歩約6 分。 ※大阪方面からは 京阪電車・淀屋橋もしくは は京橋駅→枚方市駅(交野線に乗り換え)→私 市駅下車 | http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/index.html |
| 3月 3日 (金) | 「JR福知山線廃線敷」 ハイキングコース 全長4.7km、所要時間2時間 | JR福知山線「生瀬駅」10：10着 JR福知山線「生瀬駅」「西宮名塩駅」から徒歩 15分、「武田尾駅」から徒歩8分 | 2019年度実施ルート トンネルは照明がない ため、照明器具が必要 https://nishinomiya-kanko.jp/fukuchiyamasen_haisenjiki2019/ |

【武田先生と里山を歩こう会】活動報告書

作成 2022年4月29日
 担当 八田佳子・野村美智子

| | | |
|-----------|--|------------|
| テーマと行先 | 三木山森林公園での観察 総会 2022年度 会員18名(委任状6名) | コバノミツバツツジ他 |
| 実施日・天気 | 2022年4月15日(金) (曇) | |
| コースの概要 | 神戸電鉄 恵比須駅9:39分着→三木市バス59番10:10発乗車 森林公園10:10着 | |
| 集合時刻 集合場所 | 現地10:10集合 神戸電鉄 恵比須駅9:39分着 | |
| 解散時刻 | 15:30 三木山森林公園 15:44発(10分遅れた) 恵比須駅16:01発 | |
| 歩数 | 約10000歩 | |
| 費用 | バス代210円 | |
| 参加人数 | 12名(先生2名含む) | |

今期初めての総会を兼ねた 歩こう会が三木山森林公園でありました。
 まずまずのお天気に恵まれ、午前中は武田義明先生が公園中心部をいつもながらの観察・説明を受けました。
 総会は11:30から「森の文化館」で前期活動報告及び今期のスケジュール説明がありました。
 昼食は森のレストランにて和食バイキング(1550円 シニア1390円)を楽しみ午後からの活動に備えました。
 午後からつつじ尾根を中心に目的のコバノミツバツツジ他の説明を受けました。





カスミザクラ
花は白、緑色の葉と共に咲く（山桜は赤っぽい葉）



菩提樹
数珠になる。実が花柄ごと落ちて風に舞う



ケツネノボタン



トキワハゼ
花が咲くとサギゴケに似ている



ミヤマガズミ



ヤエムグラ
（茎の周りに下向きの棘があり服にくっつく）



ハクセキレイ
（何度も登場）



スイバ
（小さなピンクの花かじると酸っぱい）、



ヤブツバキ



セイヨウタンポポ
（総苞外片は反り返る）



カンサイタンポポ
（他の花粉をもらって受粉）



ヤマモモ



雄花

雌花
雌雄異株で雄花の花粉が飛んでくる



ムラサキサギゴケ



カキドオシ



ニオイタチツボスミレ



シハイスミレ
（葉の裏はムラサキ）



ヒュウガミズキ



コバノミツバツツジ
(西日本～九州)



ヤマツツジ



モチツツジ

(静岡～岡山迄花の下の方がネバネバで虫を寄せ付けないようにするため)



リョウブ (仮軸の分子)
(天ぷらやおひたしにして食べられる)



ミズメ
メントール, 枝はメンソレの匂い



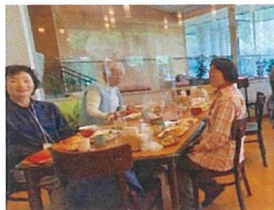
ゴマギ
ゴマの匂いがする



ボケ



ヤブヘビイチゴ



今回は「森のレストラン」でバイキング

幾度か訪れた三木山森林公園ですが今回はツツジの種類による特徴を教えていただいたりメントールの匂いにするミズメや香ばしい香りの葉のヤマコウバシなど遠くからの鶯の谷渡りを聞き季節を感じながら学ぶことが出来ました。

| | | | | |
|----|----------------|----------|----------|---|
| 1 | ボタイジュ | アオイ科 | シナノキ属 | 落葉高木 中国原産 別名コバノシナノキ 葉(5~10cmの細長いハート形だが非対称 裏細かな毛あり) 花(黄緑色) 実(念珠の材料) |
| 2 | ヤエムグラ | アカネ科 | ヤエムグラ属 | 越年草 茎(4稜で下向きに棘があり引っ掛けながら立ち上がる) 果実(引っ付き虫 2つの球がくっついた形) |
| 3 | ナズナ(写真⑦) | アブラナ科 | ナズナ属 | 越年草 草丈10~50cm 別名ペンバングサ・シャミセングサ 春の七草 ロゼットで越冬 花(4枚の十字型) 種(平たく三角形) 生薬 |
| 4 | オカメザサ | イネ科 | オカメザサ属 | 多年性常緑タケ類(成長に伴って鞘がすぐに剥がれる) 日本原産 高さ1~2m 1属1種 戎神社の酉の市で縁起物を吊り下げたからの名 |
| 5 | ネザサ | イネ科 | メダケ属 | ササ類(鞘が離脱しないで残る) 日本固有種 高さ1~3m 繁茂すると林床の草花は生きていけない 中を分け入るとタニが付く可能性大 |
| 6 | カクレミノ | ウコギ科 | カクレミノ属 | 常緑小高木 雌雄同株 葉(3~5か所に切れ込み 成木になると目立たない 寿命は2~3年で古い葉は黄色くなって落下) 実(黒色) |
| 7 | タカノツメ | ウコギ科 | タカノツメ属 | 落葉高木 雌雄異株 コシアブラと同様に枝分かれを少なくして主幹を伸ばして林内のギャップでいち早く高くなる戦略 冬芽が鷹の爪を思わせるため殻の名 |
| 8 | オオイヌノフグリ | オオバコ科 | クワガタソウ属 | 越年草 ヨーロッパ原産 イヌノフグリに似て大きいことからの名 草丈10~20cm 明治初年に帰化 花(増殖色) |
| 9 | ミズメ | カバノキ科 | カバノキ属 | 落葉高木 日本固有種 雌雄同株 サリチル酸メチルを多く含む 昔は湿布薬として使用 枝(弾力性にとみ梓弓の材料に) |
| 10 | アカシデ | カバノキ科 | クマシデ属 | 落葉高木 雌雄同株 イヌシデ・クマシデと比べると小ぶりで新芽が赤く木全体も赤みを帯びることからの名 |
| 11 | キツネノボタン | キンポウゲ科 | キンポウゲ属 | 多年草 草丈30~60cm 湿り気のある所に生育 実の形からコンペイトウグサともいう ほぼ無毛 葉(3出複葉) 花(黄色 5弁花) |
| 12 | ケキツネノボタン | キンポウゲ科 | キンポウゲ属 | 多年草 草丈25~65cm 湿り気のある所に生育 毛が多いことからの名 葉(3出複葉) 花(黄色 5弁花) コンペイトウのような実 |
| 13 | カンサイタンポポ(写真⑩⑪) | キク科 | タンポポ属 | 多年生植物 セイヨウタンポポに比べて頭花が小さく、小花の数が少ない 総苞片(反り返らない) |
| 14 | ヒヨドリバナ | キク科 | ヒヨドリバナ属 | 多年草 草丈1~2m 日当たりの良い場所に自生 葉(対生 フジバカマは3裂するが本種は裂けない) 花(白~淡紫色 筒状花) |
| 15 | ハルジオン | キク科 | ムカシヨモギ属 | 多年草 北アメリカ原産 草丈30~80cm 花びらの幅が細いのがハルジオン、広いのがヒメジオン 蕾(下を向いて垂れる特徴) |
| 16 | ヤマコウバシ | クスノキ科 | クロモジ属 | 常緑低木 雌雄異株 葉(揉むと芳香あり) 特徴(独特なオレンジ色に紅葉 枯葉を付けたまま越冬 3行脈ではない) |
| 17 | クスノキ | クスノキ科 | ニッケイ属 | 常緑高木 葉(互生 三行脈 ダニ室 寿命1年で春に新しい葉が出るときに、古い葉が一斉に落葉する) 樟腦の材料になる |
| 18 | ツルクウゾ | クワ科 | クウゾ属 | 落葉つる性木本 雌雄異株 絶滅危惧種 葉(互生) 茎(細くつる状に数mも伸びて他物に巻き付く) コウゾは巻き付かない 実(赤色 球形) |
| 19 | トキワハゼ | サギゴケ科 | サギゴケ属 | 1年草 高さ5~15cm 在来種 葉が1年中あって果実がはげずる様子からの名 匍匐茎は無い花(唇形) 花(唇形 紫色 1年中) |
| 20 | ムラサキゴケ | サギゴケ科 | サギゴケ属 | 多年草 高さ5~15cm 花の形をサギに似て茎が地面に広がる様子をコケに見立てた名 匍匐茎で広がる 柱頭(2つに分かれ触れると閉じる) |
| 21 | サンキライ | サルトリイバラ科 | シデオ属 | 多年性つる性草木 雌雄異株 葉(革質) 葉の付け根から巻きひげを出すつる(棘あり 節ごとにジグザグに折れ曲がる) 赤い実が有名 生薬 |
| 22 | ヒメオドリコソウ | シソ科 | オドリコソウ属 | 草丈10~25cm ヨーロッパ原産 花(赤紫色の唇形 上から見ると放射状に並ぶ) 葉(上は小さく赤紫緑色 下は緑紫緑に似る) |
| 23 | カキドウシ(写真⑫) | シソ科 | カキドウシ属 | 多年草 茎がつる状に伸び垣根を通り抜けるので付いた名 花(青紫色 下唇に紅紫色の斑点) 茎(断面四角) 食用・薬用 |
| 24 | オオバボタイジュ | シナノキ科 | シナノキ属 | 落葉高木 北日本の山地に分布 葉(おおきなハート型 互生 裏面に星状毛が密生) 花序の柄にシナノキ科特有のへら型の苞が付く |
| 25 | シナノキ | シナノキ科 | シナノキ属 | 落葉高木 日本特産種(北海道に多い) 葉(ハート形 左右非対称) 内皮(シナ布 アイヌが衣類や織物を作った) 良質の蜂蜜が採れる |
| 26 | ツクバネウツギ | スイカズラ科 | ツクバネウツギ属 | 落葉低木 プロペラ状になる果実の様子が羽付きの羽に、枝の様子がウツギに似ることからの名 葉(触るとピロロ感あり) |
| 27 | シハイスミレ | スマレ科 | スマレ属 | 多年草 草丈10cm 在来種 葉の裏が紫色を帯びることからの名 毛無し 葉(斜め上向きに付く) 花(淡紅色~濃紅紫色) 西日本に多い |
| 28 | ニオイタチツボスミレ | スマレ科 | スマレ属 | 多年草 在来種 全体に白色の微毛 花(芳香強い 濃い紫色で中央部の白色が目立つ) 葉(楕円形 先端尖らない) 花の後細長い葉が出る |
| 29 | スイバ | タデ科 | スイバ属 | 多年草 草丈20~100cm 雌雄異株 茎や葉を噛むと酸っぱいことからの名 やや湿った所を好む ロゼットで越冬 食用・薬用 |
| 30 | イタドリ | タデ科 | ソバカズラ属 | 多年草 草丈1.5m 雌雄異株 別名スカンボ 茎(中空 軽くて丈夫) 春先の若芽は食用(シュウ酸を含むので食べすぎ注意) |
| 31 | アセビ | ツツジ科 | アセビ属 | 常緑低木 漢名(馬酔木) 花(白く小さな壺状の花を房状に付ける) 有毒(葉を煎じて殺虫剤に) 鹿が食べない |
| 32 | ナツハゼ | ツツジ科 | スノキ属 | 落葉低木 雌雄同株 夏にハゼノキのような紅葉が見られることからの名 ブルーベリーの仲間 葉(毛に覆われてザラザラ) |
| 33 | コバノミツバツツジ(写真⑬) | ツツジ科 | ツツジ属 | 落葉低木 高さ(1.5~4m) 日本固有種 葉(枝先に菱形3個輪生) 花(3~5月に開花 薄紫色 雌蕊1本雄蕊10本 花粉が細い糸で繋がる) |
| 34 | モチツツジ | ツツジ科 | ツツジ属 | 落葉低木 別名ピロロドツツジ 日本固有種 木全体に毛が多い(虫の攻撃から防御) 花(雌蕊1本雄蕊5本) 葉(暖かいと葉を落とさない) |
| 35 | ヤマツツジ | ツツジ科 | ツツジ属 | 半落葉低木 日本の野生ツツジの代表種 雌雄同株 葉(春葉は秋に落葉、夏葉は一部越冬する) 花(漏斗形で5中裂) |

| | | | | |
|----|--------------|---------|----------|---|
| 36 | ドウダンツツジ | ツツジ科 | ドウダンツツジ属 | 落葉低木 樹高1~3m 花(花期は葉が出てから一週間後 ベル型白色で下向きに) 葉(菱形 真っ赤に紅葉) 根が浅いので乾燥に弱い |
| 37 | ネジキ | ツツジ科 | ネジキ属 | 落葉小高木 樹皮全体に入る縦皺が成長に伴って捻じれることからの名 有毒植物(特に葉) 葉(互生) 花(一列で下向きにつぼ型白色) |
| 38 | アカメガシワ | トウダイグサ科 | アカメガシワ属 | 落葉高木 雌雄異株 春にでる若葉(星状毛密生)が紅色 葉(赤褐色の長い葉柄 基部に蜜腺あり) 典型的なバイオニア植物 生薬 |
| 39 | アズキナシ | バラ科 | アズキナシ属 | 落葉高木 葉(互生 葉脈が規則正しく並ぶ) 花(白色の花弁5枚) 実(外見はアズキ、中身はナシに似る) ウラジロノキに似る |
| 40 | ミツバツチグリ(写真④) | バラ科 | キジムシロ属 | 多年草 草丈15~30cm 在来種 葉(3出複葉) 花(黄色の5弁花) 小さな葉を付けた匍枝を伸ばして増えるのが特徴 |
| 41 | カシミザクラ | バラ科 | サクラ属 | 落葉高木日本に自生する野生種 遠くから見た様子が霞のように見えることからの名 花(白色一重) 葉と葉柄(毛が多い) 葉と花が同時に展開 ヤマザクラの後に開花 |
| 42 | ユキヤナギ | バラ科 | シモツケ属 | 落葉低木 別名コゴメバナ・コゴメヤナギ 葉(柳の葉に似て細長い) 花(枝一杯に白い花を雪が積もったように咲かせる) |
| 43 | クサボケ | バラ科 | ボケ属 | 落葉低木 1m程 日本固有種 枝が横に広がって草状に立ち上がる 花(3cm程の朱色5弁花 ボケより小さい) 実(カリンの様 薬用) |
| 44 | ボケ | バラ科 | ボケ属 | 落葉低木 2m程 中国原産 枝が上に伸びる 葉(互生) 花(葉より先に紅色の5弁花) 枝(棘あり) 実(球状 夏に黄色に熟す) |
| 45 | スノーフレーク | ヒガンバナ科 | スノーフレーク属 | 球根草 草丈30~50cm ヨーロッパ中南部 原産別名スズランスイセン 花(白色でスマイレに似た芳香を放つ 花びらの先端縁の斑点) |
| 46 | モミジバフウ | フウ科 | フウ属 | 落葉高木 別名アメリカカフウ 北米中米原産 葉がモミジに似るだけでマンサクの仲間 紅葉美しいグラデーション 果実(棘あり堅い) |
| 47 | アラカシ | ブナ科 | コナラ属 | 常緑高木 雌雄同株 西日本に多い 葉(互生 先端急に尖る 上半分に大きくて鋭い鋸歯) ドングリ(開花した10~12月に熟す) |
| 48 | ウバメガシ | ブナ科 | コナラ属 | 常緑小高木 雌雄同株 葉(互生 輪生状につく カシ類では特に丸くて小さく硬い) 海岸や岩場に多い 備長炭の材料 |
| 49 | ナラガシワ | ブナ科 | コナラ属 | 落葉高木 雌雄同株 葉(先端が尖った楕円形 10~25cm 葉柄2~3cmで長草質 裏毛が多い 枯れた葉が枝に残る) 果実その年に付く |
| 50 | カラスノエンドウ | マメ科 | ソラマメ属 | 越年草 和名ヤハズエンドウ 草丈60~150cm 茎(巻きひげあり 毛あり 四角柱状) 花(紅紫色) 豆果(黒色) 毒があるので加熱して食用可 |
| 51 | ニセアカシヤ | マメ科 | ハリエンジュ属 | 落葉高木 北アメリカ原産 根粒菌が窒素固定するのでやせた土地でもよく生育する 葉(奇数羽状複葉) 枝に棘あり 蜜源植物 |
| 52 | ヒュウガミズキ | マンサク科 | トサミズキ属 | 落葉低木 花(葉の展開前に黄色の花を1~3個 葯は黄色 雄蕊と葉弁の長さ花弁の方が長い) 葉身の長さ2~3cm 別名イヨミズキ・ヒメミズキ 九州日向とは無関係 |
| 53 | カラタネオガタマ | モクレン科 | モクレン属 | 常緑高木 中国南部原産 別名トウオガタマ 花(バナナの香りを放つ) 実(鮮やかなオレンジ色) オガタマノキと混同される |
| 54 | ヤマモモ | ヤマモモ科 | ヤマモモ属 | 常緑高木 雌雄異株 中国日本原産 葉(枝の先に束生状に) 果実(暗赤色 日持ちしないのでジャムや果実酒に) 根粒菌と共生 |
| 55 | リョウブ(写真⑩) | リョウブ科 | リョウブ属 | 落葉小高木 別名ハタツモリ 幹(株立ち状 樹皮は鹿子模様で美しい) 葉(互生 先端に集まる) かつて飢饉時に重要な救荒食 |
| 56 | コバノガマズミ | レンブクソウ科 | ガマズミ属 | 落葉低木 ガマズミより小さい葉や花からの名 葉(先端鋭く尖る 毛のある葉柄短く托葉あり) 花(白色 花冠5裂) 秋に赤い果実 |
| 57 | ゴマキ | レンブクソウ科 | ガマズミ属 | 落葉高木 日本固有種 若い枝葉や樹皮にゴマの油のような香りがあるための名 果実(真夏に赤色で人目を惹く) |
| 58 | ミヤマガマズミ | レンブクソウ科 | ガマズミ属 | 落葉低木 雌雄同株 ガマズミより標高の高い場所に多く、花・葉全体的に小さい 実(赤色 ガマズミより大きく丸い) |
| 59 | スマレゴケ | ? | ? | スマイレの匂いがするコケ 赤茶色 宮津の下川橋のアーチの石にある |

| | | | | |
|---|-------------|------|-------|--|
| 1 | ハクセキレイ(写真⑮) | スズメ科 | セキレイ属 | 留鳥 体長21cm 広い河川・農耕地・市街地の空き地など開けた環境を好む 左右の足を交互に出してトコトコ歩く 頻りに腰と尾を振る ハクセキレイの増加にセグロセキレイ(日本特産種)とセキレイが急速に減少している |
|---|-------------|------|-------|--|

他のミツバツツジ：トウゴクミツバツツジ・サイコクミツバツツジ・トサノミツバツツジ・キヨスミミツバツツジ・ヤクシマミツバツツジ
ダイセンミツバツツジなどある

アカシア(マメ科アカシア属)の花は3~5月球形の黄色の小花が房のように咲き種が一般的 (1000種類以上あるアカシア)

ニセアカシアの花は5~6月に白い蝶形の花を咲かせる

ミモザ(マメ科オジギソウ属)葉っぱに触れるとお辞儀をする アカシアとは別種 ピンクの花

一般的に黄色の房状の花が咲くアカシアの仲間をミモザという イタリアでは3月8日の国際女性デーを『ミモザの日』と制定している

ナガバノタチツボスマレ：葉が暗緑色になることが多い 茎葉が細長い 葉柄無毛 花芳香あり

タチツボスマレ：花が淡色 花弁が細い 葉柄無毛



① ボタイジュ



②



③ミヤマガマズミ



④ミツバツチグリ



⑤リョウブ



⑥トキワハゼ



⑦ナズナ



⑧



⑨ミヤマガマズミ



⑩カンサイタンポポ



⑪カンサイタンポポ



⑫ヒュガミズキ



⑬ハクセキレイ



⑭



⑮



⑯コバノミツバツツジ



⑰コバノミツバツツジ



⑱コバノミツバツツジ



⑲コバノミツバツツジ



⑳コバノミツバツツジ



㉑カキドウシ

[武田先生と里山を歩こう会] 植物観察会実施報告書 (R4年5月)

1. 概況

| | |
|--------|---|
| 行先 | 保久良山 神戸市東灘区 |
| 観察行程 | 阪急岡本駅～岡本南公園（桜守公園）～岡本梅林公園～岡本八幡神社～保久良神社西側参道～保久良梅林公園（昼食）～保久良神社～保久良神社西側参道（保久良夢広場経由）～岡本街園（バラ園）～喫茶店にて休憩後解散（15:00） |
| 実施日・天気 | 2022年5月20日（金） 薄曇り |
| 集合解散 | 10:00 阪急神戸線 岡本駅集合 15:00 岡本街園（バラ園）解散 |
| 参加人数 | 14名 |

2. 所感

雨天のため5月8日を順延しての実施であった。強い陽射しもなく、心地よい五月の風を感じる観察会であった。四つの公園に立ち寄り、二か所の神社に参拝しながら植物の観察を行った。標高190mの保久良神社の西側参道は、途中まで舗装道路となっており比較的歩きやすいコースである。

保久良神社の境内は、シイ類は少なく、標高400m程度の地帯に生育するアカガシが散見され、ヤマモモが多い。原生林ではなく人が手を入れた里山である。

帰路の天井川では、オオキンケイギクやオオカワヂシャなどの外来植物が多く生育していることが観察できた。

3. 主な観察植物（観察順）

| | 名前 | 科 | 属 | 備考 |
|----|----------|----------|----------|---------------|
| 1 | オオシマザクラ | バラ科 | サクラ属 | 日本固有種 |
| 2 | ツルドクダミ | タデ科 | ツルドクダミ属 | 葉がドクダミに似る |
| 3 | テイカカズラ | キョウチクトウ科 | テイカカズラ属 | 有毒。藤原定家に由来 |
| 4 | コブシ | モクレン科 | モクレン属 | 落葉樹 白い大きな花 |
| 5 | ムクノキ | アサ科 | ムクノキ属 | 落葉樹 葉の表面荒い |
| 6 | エノキ | アサ科 | エノキ属 | 落葉樹 農具の柄 |
| 7 | キダチコマツナギ | マメ科 | コマツナギ属 | 低木落葉樹 駒繫ぎ |
| 8 | ニワウルシ | ニガキ科 | ニワウルシ属 | かぶれることはない |
| 9 | ノイバラ | バラ科 | バラ属 | 落葉つる植物 棘有り |
| 10 | アオツツラフジ | ツツラフジ科 | アオツツラフジ属 | 有毒 |
| 11 | ノブドウ | ブドウ科 | ノブドウ属 | 実は美味しくない |
| 12 | ナガバヤブソテツ | オシダ科 | ヤブソテツ属 | 両者は、ソーラスで区別する |
| 13 | ヤブソテツ | オシダ科 | ヤブソテツ属 | |

| | | | | |
|----|--------------|---------|---------|--------------------------|
| 14 | コバノヒノキシダ | チャセンシダ科 | チャセンシダ属 | 常緑シダ |
| 15 | クヌギ | ブナ科 | コナラ属 | 各地に広く分布 落葉 |
| 16 | ガマズミ | レンプクソウ科 | ガマズミ属 | 白い小さな花 実は赤 |
| 17 | コウヤボウキ | キク科 | コウヤボウキ属 | 高野山では箒の材料 |
| 18 | ヤブマオ | イラクサ科 | カラムシ属 | 藪真麻 植物繊維をとる |
| 19 | コナスビ | サクラソウ科 | オカトラノオ属 | 黄色い花 |
| 20 | シロダモ | クスノキ科 | シロダモ属 | 常緑樹 香りがある |
| 21 | ナワシログミ | グミ科 | グミ属 | 苗代の時期に実がなる |
| 22 | ヤブニッケイ | クスノキ科 | クスノキ属 | 常緑広葉樹 香有り |
| 23 | カキノキ | カキノキ科 | カキノキ属 | 果樹 |
| 24 | クサイチゴ | バラ科 | キイチゴ属 | 実は食べられる |
| 25 | アラカシ | ブナ科 | コナラ属 | 常緑広葉樹 葉に鋸歯 |
| 26 | カゴノキ | クスノキ科 | ハマビワ属 | 樹皮が鹿子模様 |
| 27 | ハルジオン | キク科 | ムカシヨモギ属 | 茎は中空。ヒメジョオンは 茎に空洞が無い。 |
| 28 | トキワハゼ | ハエドクソウ科 | サギゴケ属 | 常葉、実がはじける |
| 29 | ヘビイチゴ | バラ科 | キジムシロ属 | 実は美味しくない |
| 30 | ヤマモモ | ヤマモモ科 | ヤマモモ属 | 常緑広葉樹 |
| 31 | アラカシ | ブナ科 | コナラ属 | 常緑広葉樹 |
| 32 | ムクロジ | ムクロジ科 | ムクロジ属 | 種子は羽根つきの玉 |
| 33 | コメツブツメクサ | マメ科 | シャジクソウ属 | 黄色の花 |
| 34 | センダン | センダン科 | センダン属 | 香はしない。 |
| 35 | アオイゴケ | ヒルガオ科 | アオイゴケ属 | 腎形の葉 |
| 36 | オヤブジラミ | セリ科 | ヤブジラミ属 | 引っ付き虫 |
| 37 | チマキザサ | イネ科 | ササ属 | 粽に使う |
| 38 | サネカズラ | マツブサ科 | サネカズラ属 | 万葉集に。美男カズラとも |
| 39 | イヌビワ | クワ科 | イチジク属 | 落葉低木 実はイチジクに似る |
| 40 | アオギリ | アオイ科 | アオギリ属 | 落葉広葉樹 |
| 41 | ウツギ | アジサイ科 | ウツギ属 | 小さい白い花 |
| 42 | ルナリア (ゴウダソウ) | アブラナ科 | ゴウダソウ属 | 宿根草 |
| 43 | ヒルザキツキミソウ | アカバナ科 | マツヨイグサ属 | 昼に開花 |
| 44 | オオキンケイギク | キク科 | ハルシャギク属 | 特定外来生物 |
| 45 | ハタケニラ | ネギ亜科 | ステゴビル属 | 帰化植物 |
| 46 | オオカワヂシャ | オオバコ科 | クワガタソウ属 | 特定外来生物 |
| 47 | ヒナキキョウソウ | キキョウ科 | キキョウソウ属 | 帰化植物 |

4. 観察写真

テイカカズラ



キダチコマツナギ



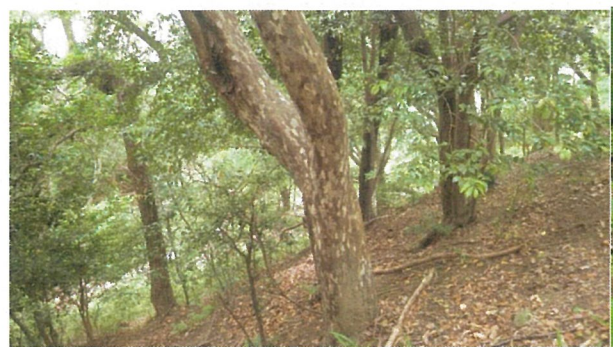
ノイバラ



コナスビ



カゴノキ



ハルジオン



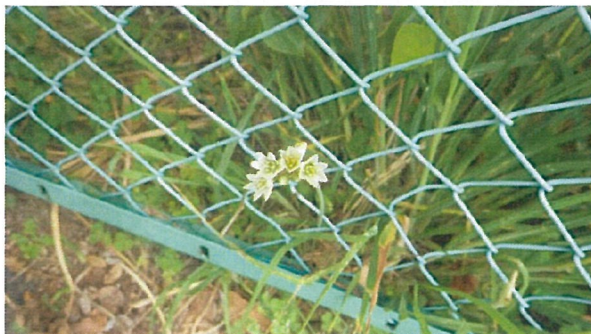
アオイゴケ



ヒルザキツキミソウ



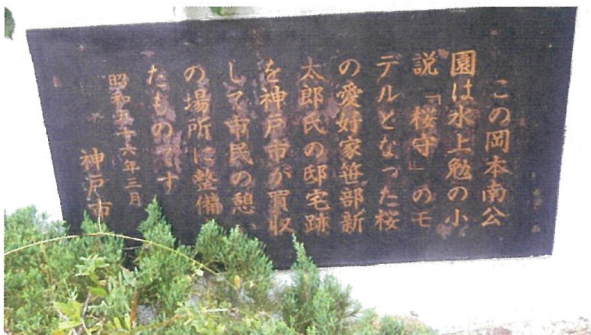
ハタケニラ



バラ（本山街園）



岡本南公園



岡本公園



作成担当 加藤 哲

| | | | | |
|----|------------|---------|-----------|--|
| 1 | アケビ | アケビ科 | アケビ属 | つる性落葉低木 雌雄同株で雌雄異花 茎(つるになって左巻きに巻き付く) 葉(奇数羽状複葉 長い葉柄) 花(淡紫色) 食用・生薬 |
| 2 | エノキ | アサ科 | エノキ属 | 落葉高木 雌雄同株 樹形(ケヤキより横に広がる イボイボが多い) 葉(互生 左右非対称 上半分に鋸歯あり) 昆虫の食樹(特に国蝶オオムラサキの幼虫) 各地の一里塚や御神木に |
| 3 | ムクノキ | アサ科 | ムクノキ属 | 落葉高木 雌雄同株 葉(薄くカサカサ 家具や象牙・漆器の研磨に使用) 老木になると洞ができる ムクノキ属で唯一日本に生育 各地で天然記念物に指定 成木の根は板根状に |
| 4 | イヌガラシ | アブラナ科 | イヌガラシ属 | 多年草 草丈20~50cm やや湿った場所に生える雑草 葉(長楕円形)花(根元から株立ち 黄色4弁の十字状花) 果実(長角果) |
| 5 | クレソン | アブラナ科 | オランダガラシ属 | 多年草 水中または湿地に生育 ヨーロッパ原産 ベータカロチンを大量に含む 要注意外来植物に指定 食用・薬効・生薬 |
| 6 | キショウブ | アヤメ科 | アヤメ属 | 多年草の抽水植物 帰化植物 「要注意外来生物」に指定 高さ60~120cm 葉(2列に根生 剣状) 花(黄色 1日花の両性花) |
| 7 | シャガ | アヤメ科 | アヤメ属 | 多年草 草丈50~60cm 中国原産 やや湿った所に群生 葉(単面葉) 花(花弁に濃い紫と黄色の模様) 三倍体なので日本に存在するすべてのシャガは同一の遺伝子を持つ |
| 8 | ルリマツリ | イソマル科 | ルリマツリ属 | 多年草or低木? 観賞用植物 南アフリカ原産 別名ブルンバゴ 葉(互生) 花(大きな5つの空色の花弁を持つ 春から秋にかけて咲く) |
| 9 | カラスムギ | イネ科 | カラスムギ属 | 越年草 草丈30~100cm ヨーロッパ原産 別名チャヒキグサ 茎(中空 直立 叢生) 葉(互生) 2本の長い芒あり |
| 10 | スズメノチャヒキ | イネ科 | スズメノチャヒキ属 | 1年草 草丈30~70cm ヨーロッパ原産 やや群生 全体に柔らかい毛で覆われる 長い芒 茎(線形 中空で直立) |
| 11 | チガヤ | イネ科 | チガヤ属 | 多年草 群生する厄介な雑草 草丈30~80cm 細い葉がツンツンと立ち5~6月に艶のある白い穂を出す |
| 12 | クサマオ | イラクサ科 | カラムシ属 | 多年草 草丈1~1.5m 別名カラムシ(茎幹を蒸して繊維を採ったことからの名) 雌雄同株 葉(互生 表ざらつく艶無し 裏綿毛が密生) |
| 13 | ツタバウンラン | オオバコ科 | ツタバウンラン属 | つる性多年草 草丈10~40cm 地中海沿岸地方原産 匍匐性 茎(赤茶色) 葉(掌を広げたような形) 花(唇形 薄青紫色 距あり) 食用 |
| 14 | マメガキ | カキノキ科 | カキノキ属 | 落葉高木 中国原産 葉(互生 裏白軟毛あり) 花(クリーム色) 実(熟すと黄から黒紫色に 2cm弱 未熟果を柿渋の採取に) 生薬 |
| 15 | リュキュウマメガキ | カキノキ科 | カキノキ属 | 落葉高木 中国原産 別名シナノガキ 雌雄異株 葉(裏無毛) 果実(1.5~2cm 黒紫色 実を細かく砕いたものが柿渋になる) 生薬 |
| 16 | ムラサキカタバミ | カタバミ科 | カタバミ属 | 多年草 草丈10~30cm 南アメリカ原産 要注意外来生物に指定 葉(ハート型) 花(淡紫色・ピンク色 夜になると花を閉じる) |
| 17 | ホタルブクロ | キキョウ科 | ホタルブクロ属 | 多年草 草丈30~80cm 全体に毛が多い 花(初夏から夏の前半に釣鐘形の花を下向き咲かす 白・紫・ピンク色) |
| 18 | レタス | クク科 | アキノノゲシ属 | 1年草または2年草 和名チシャ(切り口から出る白い液体から乳草と言われたことからの名) 花(1cm程の黄色のタンポポのような花) |
| 19 | オニタビラコ | クク科 | オニタビラコ属 | 越年草 草丈0.2~1m 道端や庭に自生する雑草 全体に細かな毛を密生 茎や葉を切ると白い乳液が出る花(多数の黄色の小さなタンポポのような花) |
| 20 | ヒメジョオン | クク科 | ムカシヨモギ属 | 多年草 北アメリカ原産 草丈30~150cm 花(白色 ハルジオンより太い花びら) 茎(スポンジ状) 侵略的外来種 |
| 21 | ベラベラヨメナ | クク科 | ムカシヨモギ属 | 多年草 草丈20~40cm 中央アメリカ原産 葉が薄くヨメナのような花を付けることからの名 花弁(色が白から淡紅色に変色) |
| 22 | キリ | キリ科 | キリ属 | 落葉高木 葉(対生 長い葉柄 表毛が密生 裏星状毛 特に幼樹の葉が大きい) 花(淡紫色 大きな円錐花序が直立) 成長早い |
| 23 | センニンソウ | キンポウゲ科 | センニンソウ属 | つる性半低木 別名ウマクワズ 有毒・有害植物 葉(羽状複葉) 果実より伸びた銀白色の長毛が密生することからの名 |
| 24 | クスノキ | クスノキ科 | ニッケイ属 | 常緑高木 葉(寿命は一年限り 春になると古い葉は赤くなる 3本脈) 材や枝葉からセルロイドや樟脳が採取できる 巨木ランキングの上位のほとんどを占める |
| 25 | イチジク | クワ科 | イチジク属 | 落葉小高木 雌雄異株 雌株の小さな花が多数入った花囊が実になる 葉(互生 大型の3~5列の掌状 うら毛が密生) |
| 26 | コナスビ | サクラソウ科 | オカトラノオ属 | 多年草 草丈10~30cm 在来種 果実がナスに似て小さいことからの名 全体に軟毛あり 茎(地を這う) 花(小さな黄色) |
| 27 | ウラシマソウ | サトイモ科 | テンナンショウ属 | 多年草 テンナンショウ属の植物は性転換する(小型の個体は雄性、大型の個体は雌性に) 葉(1本 鳥足状複葉) 付属体が釣糸状に長く伸長する 花(仏炎苞の中に咲く) 果実(真っ赤) |
| 28 | ナガバタチツボスミレ | スミレ科 | スミレ属 | 常緑多年草 タチツボスミレに似るが立ち上がる茎に出る葉が細長い 茎(花の頃は10~20cm 花の後30cm程に伸びる) 花(淡紫色) |
| 29 | ヤブジラミ | セリ科 | ヤブジラミ属 | 越年草 草丈30~70cm 藪に生え果実にカギ状の棘がしらみのように衣服にくっつくことからの名 花(茎の先端に小さな白い5弁花) |
| 30 | センダン | センダン科 | センダン属 | 落葉高木 葉(2回奇数羽状複葉 1枚の長さ50cm程) 花(淡紫色) 果実(クリーム色 サポニンを含む) 薬用植物(抗がん作用あり) |
| 31 | ヒメツルソバ | タデ科 | イヌタデ属 | 多年草 草丈5~15cm ヒマラヤ原産 花(金平糖のような1cm程の球状 ピンクから白色に変化) 匍匐性 葉(V字に斑紋が入る) |
| 32 | コバノヒノキシダ | チャセンシダ科 | チャセンシダ属 | 常緑性シダ 草丈10~30cm 在来種 山野の日当たりのいい岩上や石垣などに生える シノブにも似た細かい切れ込みの葉が特徴的 葉(叢生 紙質 2~3回羽状複生) |

| | | | | |
|----|---------|----------|----------|--|
| 33 | サツキ | ツツジ科 | ツツジ属 | 常緑低木 山奥の溪流沿いの岩肌に自生 保久良山にあったものは園芸種が逃げたもの? 葉(互生 小さい) 花(5~6月開花 雄蕊5本) |
| 34 | アオツツラフジ | ツツラフジ科 | アオツツラフジ属 | つる性落葉木本 雌雄異株 蔓(若い蔓は毛が密生) 葉(互生 全緑 色々な形あり) 果実(緑色から青く熟す 有毒 種子はアンモナイトの化石に似た形) |
| 35 | ニワウルシ | ニガキ科 | ニワウルシ属 | 落葉高木 中国原産 別名シンジュ ウルシとは全くの別種 雌雄異株 葉(大型の羽状複葉 互生) アレロパシー効果で他の植物の成長を阻害する 養蚕に使われていた(シンジュサンの食草) |
| 36 | マユミ | ニシキギ科 | ニシキギ属 | 落葉小高木 昔最高級の弓が作られたことから名 雌雄異株 葉(個体差や変異が多い) 実(ピンク色のサイコロの様 毒性あり) |
| 37 | ノウゼンカヅラ | ノウゼンカヅラ科 | ノウゼンカヅラ属 | 落葉つる性木本 中国原産 蔓(附着根で這い登る) 葉(奇数羽状複葉 対生) 花(オレンジ・赤色 漏斗型) 薬用 |
| 38 | オオカナメモチ | バラ科 | カナメモチ属 | 常緑高木 葉(互生 革質 新芽は薄緑色 古い葉は順次鮮やかに紅葉して落ちる) 葉も花もカナメモチより大きい |
| 39 | カナメモチ | バラ科 | カナメモチ属 | 常緑小高木 葉(互生 細かな鋸歯 密に付ける 革質 若葉は紅色) 花(白色 小さな5弁花が頂上に集まって咲く) 生垣に用いられる |
| 40 | エドヒガン | バラ科 | サクラ属 | 落葉高木 日本固有種 基本野生種の一つ 別名アズマヒガン・ウバヒガン 萼や葉に毛が多い 葉(互生) 花(葉が出る前 淡紅色5弁花一重咲 ソメイヨシノより開花早い) 巨樹になり古木・名木は天然記念物に指定(盛岡石割桜・根尾薄墨桜・醍醐桜など) |
| 41 | オオシマザクラ | バラ科 | サクラ属 | 落葉高木 日本固有種 基本野生種の一つ 葉(互生 糸状に突出した細かな鋸歯が特徴 クマリンを含んで桜餅に使用) 花(新葉と同時 大きめの白色一重5弁花 下向き) |
| 42 | オカモトザクラ | バラ科 | サクラ属 | 花(微淡紅白色 5弁化の大輪一重咲) オオシマザクラとオオヤマザクラの交配種 岡本公園で発見された |
| 43 | ササベザクラ | バラ科 | サクラ属 | 笹部慎太郎氏の庭に芽生え、昭和60年に新品種として妙名された カスミザクラとオオシマザクラ系の交配種 花(淡紅白色 花弁8~20枚の半八重咲種) |
| 44 | ヤエベニシダレ | バラ科 | サクラ属 | 落葉小高木 エドヒガンから誕生した日本原産の八重咲のヤエザクラ 濃い紅色のシダレザクラ 別名遠藤桜 開花は葉に先行 |
| 45 | ヤマザクラ | バラ科 | サクラ属 | 落葉高木 日本固有種 基本野生種の一つ 葉(互生 成葉のうら帯白色) 花(赤茶けた新芽の芽吹きと同時に開花 淡紅色の5弁の一重咲) 吉野山・嵐山など各地に名所 古くから和歌にも詠まれる |
| 46 | ノイバラ | バラ科 | バラ属 | つる性低木 高さ1~3m 棘が多い 別名ノバラ 茎(半つる性)葉(奇数羽状複葉 互生) 花(白・薄紅色 5弁花) 実(赤色 生薬) |
| 47 | ビワ | バラ科 | ビワ属 | 常緑高木 中国南西部原産 葉(濃緑色 長い楕円形 艶あり 裏綿毛) 花(春枝の先端に 白い5弁花) 食用・薬用・材 |
| 48 | アベマキ | ブナ科 | コナラ属 | 落葉高木 別名コルククヌギ 雌雄異株 樹皮(クヌギよりコルク層が発達) 葉(裏星状毛で白っぽい 縁が鉤状の鋸歯) ドングリ |
| 49 | ウバメガシ | ブナ科 | コナラ属 | 常緑高木 葉(互生 枝先に輪生状に カシ類の中でも特に小さく硬い葉) 雌雄同株 岩場や海岸に多い 備長炭の材料 |
| 50 | シロツメクサ | マメ科 | シャジクソウ属 | 多年草 別名シロクローバー ヨーロッパ原産 葉(就眠運動をする) 草遊びの材料・蜜源植物・食用・薬用 |
| 51 | ハリエンジュ | マメ科 | ハリエンジュ属 | 落葉高木 北アメリカ原産 別名ニセアカシヤ 蜜源植物 葉(互生 奇数羽状複葉 托葉が棘に変化) 花(香りのよい白色の蝶形) |
| 52 | ヤハギソウ | マメ科? | ヤハギソウ属 | 葉をちぎると矢を弓の弦にかける所の矢筈に似たようにちぎれることからの名 |
| 53 | ヤマボウシ | ミズキ科 | ヤマボウシ属 | 落葉高木 幹(樹齢を重ねるとカゴノキのように班模様剥離する)花(葉が完全に開いてから枝の先に上向きに白い装飾花を付ける 総苞片の先が尖る ハナミズキより遅い) 果実(食用) |
| 54 | イボタノキ | モクセイ科 | イボタノキ属 | 落葉低木 別名カワネズミモチ 葉(対生 楕円形) 花(ネズミモチに似た白い漏斗型小花) 名は寄生するイボタロウカイガラムシの雄が分泌する白蠟をイボ取りに用いたことによる |
| 55 | アオダモ | モクセイ科 | トリネコ属 | 落葉中高木 材の特性を生かしてバットやラケットなどの材料に葉(奇数羽状複葉 明瞭な鋸歯あり) 雌雄異株 |
| 56 | マルバアオダモ | モクセイ科 | トリネコ属 | 落葉高木 雌雄異株 別名ホソバアオダモ(葉の形や葉先が丸いことからの名で葉の実態を表す) 葉(奇数羽状複葉 長い葉柄 全縁) |
| 57 | ハウノキ | モクレン科 | モクレン属 | 落葉高木 葉・花・実の全てが大型 葉(枝先に輪生状に付く) 花(葉の中央に上向きに咲く 甘く強い芳香) 食・材・薬用に利用 |
| 58 | クロガネモチ | モチモキ科 | モチモキ属 | 常緑中高木 若い枝や葉柄が黒紫色ことや葉が乾くと鉄色になることからの名 樹皮(鳥もちや染料が採れる) 実(小さな多数の赤い実) |
| 59 | イロハモミジ | ムクロジ科 | カエデ属 | 落葉高木 別名イロハカエデ・モミジ 新緑・紅葉がとても美しい 雌雄同株 葉(対生 掌状に深く5~7裂) 花(芽出しと同時に深紅の小花) 翼果(花の後にプロペラのような翼あり) |

昆虫綱子ウ目

| | | | | |
|---|---------|---------|----------|---|
| 1 | アオスジアゲハ | アゲハチョウ科 | アオスジアゲハ属 | 黒字に青白い筋が一本入る オスは湿った地面で吸水 幼虫の食草はクスノキ・タブノキ・ニッケイなど |
| 2 | テングチョウ | タテハチョウ科 | テングチョウ属 | 天狗のように顔の先が尖っている茶色っぽいチョウ 羽の表面にオレンジ色の紋あり 低山地の雑木林に多い 幼虫の食草はエノキ |

「梅檀は双葉より芳し」(才覚のある人は幼少時から発揮する)のセンダンにはジャクダンの事

葉の見分け方

ケヤキ： ①側脈は並行脈 ②鋸歯は外側が弧を描いて丸くなり、葉の全体に ③側脈は葉縁に達する
ムクノキ：①側脈は3行脈 ②鋸歯は角ばった鋭い山形で葉の全体に ③側脈は葉縁に達する
エノキ： ①側脈は並3行脈 ②鋸歯は波状のする鋭く葉の上部に ③側脈は葉縁に達しない

日本で古代から使われていた衣類の繊維 カラムシ・シナノキ・フジ・コウゾ・クスなど

似ている名のアオダモとアオハダの違い

アオハダ：葉(普通の葉っぱ) 花(葉の陰に咲く) 実(赤くて丸い)
アオダモ：葉(小葉が集まって1組の葉に) 花(枝先に咲く) 実(豆状)

ハルジオンとヒメジオンの違い

ハルジオン：背が低い 花大きくて少ない 根本に葉がある 茎空洞あり 葉は茎を抱くように付く 蕾が下を向く
ヒメジオン：背が高い 花が小さくて数が多い 根本がすっきり 茎に空洞無し 葉は茎を抱かない 蕾が上を向く

ムラサキカタバミとクローバーの見分け方

ムラサキカタバミ： 葉がハート型 葉の模様無し
クローバー： 葉が楕円形 葉に白い模様あり 葉先にくぼみがある

リュキュウマメガキとマメガキの違い

リュキュウマメガキ：葉柄が長くみがぶら下がる
マメガキ： 葉柄が短い 若葉のうちは毛がある

タデ科の葉には斑紋が入る：ヒメツルソバ・ミズヒキ・イヌタデ・オオイヌタデなど

2022年5月20日 保久良



①イボタノキ



②カナメモチ



③ガマズミ



④テイカカズラ



⑤保久良神社本殿



⑥



⑦岡本バラ園



神叢 ヤマモモ・クログネモチ・アカガシの大木 →



武田先生と里山を歩こう会

記録者 太田由紀子、三木朋子

- 行き先** 丸山湿原(宝塚市)
- 天候** 晴れ 午後から雨が心配されていたが、活動終了時に雲量が増えたぐらいで天候に恵まれて良かった
- 参加人数** 14名
- 歩数** 約15000歩
- コース概要** 10：25JR武田尾駅集合
10：35 阪急バス(340円)上佐曾利行き発車
10：45 西谷の森公園口 到着

徒歩にて西谷の公園管理棟へ
お手洗い休憩の後、丸山湿原へ出発

- 12：10 駐車場を過ぎ、湿原に入って、石を積む
場所で昼食
- 14：55 武田尾駅行き阪急バス(340円)乗車
- 15：05 解散

丸山湿原に行く途中の道路でも多くの植物、蝶など観察した。途中の小さな池にモリアオガエルの白い卵が木々に沢山ついているのが珍しかった。モリアオガエルの雌の個体が枝にとまっているのを観察した。

昼食後、第一湿原と第四湿原を観察、トキソウ、イシモチソウ、モウセンゴケなどが見られたが、サギソウは時期が早かったのか、見られなかった。

他の自然大学のグループとも行き帰りのバスが同じとなり、思いかけず、往復ともバスが満員であった。

<今回観察できた植物、昆虫など>

[植物]

ハチク(淡竹)

アクが少ないので、食べられる。

イヌツゲ モチノキ科モチノキ属

庭木として多く植えられる。

成長の早いイヌツゲはツゲよりも材の質が劣るということで「犬(イヌ)」の名がつけられたという。

葉のつき方が互生。

(育て方がわかる植物図鑑より)



イヌツゲ

cf. マメツゲ(マメイヌツゲ) (豆柘植)

モチノキ科モチノキ属

葉っぱが丸っこく表面の膨らむ様子が豆に似ていることから名づけられた。

(庭木図鑑植木ペディアより)



cf. ツゲ ツゲ科ツゲ属

たいへん成長が遅く、緻密でなめらかなツゲ材として櫛や印鑑の高級材料になる。葉のつき方が対生。

(育て方がわかる植物図鑑より)



ネジキ

コバノミツバツツジ

ネジキ(捻木) ツツジの仲間

つぼ型の白い花が並んで咲く。

樹皮全体に入る縦皺が、成長に伴って捻れることから、ネジキと命名された。

(庭木図鑑植木ペディアより)



ミヤコイバラ

ミヤコイバラ(奇数羽状複葉)

葉柄に、先の方が赤色の腺毛がある。

cf. ノイバラ 全体に毛がある?

(葉の裏面と葉の軸に短毛が生える)

ソヨゴ モチノキ科 雌雄異株

ソヨゴ

西日本の太平洋側に多い。

柄の長い葉が風に揺れて音を立てる。
(=そよぐ)ことから、ソヨゴと命名された。
(庭木図鑑植木ペディアより)



サンキライ

コバノガマズミ

葉の両面に星状毛があり、触るとビロード
のような感触がある。

ミヤマガマズミ

葉の表面が無毛である。

ムラサキハナナ アブラナ科

サンキライ サルトリイバラ科 別名サルトリイバラ



ガンピ

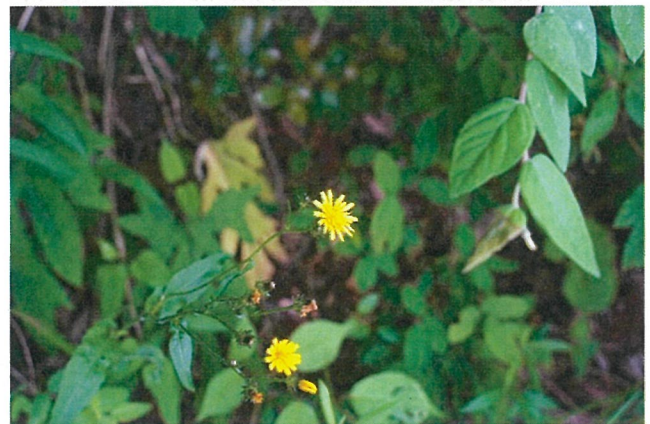
ガンピ シンチョウゲ科 名塩雁皮紙の原料となる。

コシアブラ ウコギ科 葉が5枚 山菜の女王

タカノツメ ウコギ科 葉が3枚

両方とも天ぷらにして食べられる。

コウゾリナ



コウゾリナ

ヤマウルシ ウルシ科

ウルシとは別種で漆塗りには用いられない。

ウルシと同様、木全体にウルシオールとい
う成分が含まれ、枝葉に触れるとかぶれる。

(庭木図鑑植木ペディアより)

モチツツジ(餅躑躅)

萼や葉がネバナネバする。

そのネバナネバに虫が捕えられ身動きがとれ
なくなり、さらにその虫を食べる虫も存在
する。

ネバナネバを餅または鳥もちに擬えて名前の
由来になったという。



モチツツジ

スイカズラ

金銀花ともいう。



スイカズラ

当日観察した花は黄花だった。

ウツギ(空木) アジサイ科ウツギ属

ウノハナ(卵の花)とも呼ばれる。

白い花。

幹や枝が中空になっていることから命名されたといわれる。



ウツギ

ワラビ コバノイシカグサ科 シダ植物の仲間

オルレア 園芸種

ジューンベリー 赤い実が食べられる 甘い

クリ ブナ科

ハンノキ 水辺の湿ったところが好き

ミドリシジミの幼虫の食草



オルレア

ヤナギの白い綿毛 柳絮(りゅうじょ)

ヤマボウシ(山法師) ミズキ科

日本、中国、朝鮮半島が原産

花弁にみえる白い総苞片の先端が尖る。

cf. ハナミズキ(アメリカヤマボウシ)

アメリカ東部、メキシコ北東部原産

総苞片の先端が丸いか凹む。



クリ

ツチアケビ ラン科の腐生植物

ナラタケに寄生する。

秋にアケビの実に似た赤いソーセージのような実をつける。

観察時はツボミだった。

cf. アケビ アケビ科の蔓性植物

実が熟すと自然に果皮が開く様を

表す「開け実」からアケビという

名になったという説が有力とされる。

ツチアケビとは無関係。



ツチアケビ

(庭木図鑑植木ペディアより)

タンナサワフタギ ハイノキ科ハイノキ属

名前の由来

「タンナ」=「耽羅」

発見地・濟州島の古名

「サワフタギ」(沢蓋木)

沢をふさぐほどに繁る



タンナサワフタギ

近縁種に、青い実をつける「サワフタギ」

コアジサイ(小紫陽花)

アジサイ属に特徴的な、萼片が変化した
装飾花が無い。

甘い香りがする。



コアジサイ

シシガシラ シシガシラ科

孢子葉と栄養葉が異なる。

アリマコスズ

背が低い。

ネザサ イネ科

背が高い。



シシガシラ



ヤチカワズスケ

～第三湿原にて～

ヤチカワズスケ(谷地蛙管)

湿地特有の植物。

貧養で少しずつ水が流れる湿地に生える。

対して、ハンノキは水が淀みがちな湿った
場所に生える

モウセンゴケ モウセンゴケ科

モウセンゴケ属

コケとあるが、種子植物。

食虫植物。

白い花が咲く。



モウセンゴケ

イシモチソウ モウセンゴケ科
モウセンゴケ属
食虫植物。
白い花が咲く。>>



トキソウ

～第四湿原にて～
トキソウ(朱鷺草)
湿地に生える野生ラン。

イグサ(イ草)
畳表を作るのに使われる。

ウラジロ(裏白)
葉の裏が白い。
手触りが良い。
お正月飾りに使われる。



ササユリ

ササユリ
葉がササの葉に似ている。

ウワミズザクラ
白い穂のような花が咲く。

ヤブヘビイチゴ 果実にしわがない
ヘビイチゴ 果実にしわがある

ルーペで観察して見分ける。
とはいえ、小さ過ぎて分からなかった。

いずれも毒がないので食べられないことはないが、とても不味らしい。

両方とも黄色い花が咲く

蛇の出そうな所、または、蛇なら食べる
かも?ということが、その名の由来かもしれない。

ユウゲショウ アメリカ大陸原産の外来植物。

ヤブムラサキ シソ科
葉、花、実には細かな毛が生える。



ヘビイチゴの実

ヘビイチゴ



ヤブヘビイチゴの実

茎や葉の下で下に向かって花が咲き、
実ができる。



シライトソウ

ムラサキシキブ シソ科

葉、花、実にほとんど毛がない。
茎や葉の上で上に向かって花が咲き、実が
できる。

シライトソウ(白糸草)



キンモンガ

〔昆虫〕

「チョウ(蝶)の仲間」
ウラナミアカシジミ
テングチョウ
モンキチョウ(メス)
ヒオドシチョウ
イチモンジチョウ
キンモンガ



ハラビロトンボ

〔トンボ(蜻蛉)〕

ハラビロトンボ 第三湿原にて
ハッチョウトンボ 第四湿原にて
体長が 2cm 程で日本一小さい。
オスが赤色
アサヒナカワトンボ



アサヒナカワトンボ



ハッチョウトンボ

〔その他〕

カメノコテントウ
トゲアリ



カノコテントウ

〔両生類〕

モリアオガエルの卵及び成体

行きも帰りも同じ場所でカエルがじっとし
ていた。帰宅後調べると夜行性で、昼間に
見つけるのは難しいとのこと。
可愛い姿を堪能できて幸運だった。

「休息中をおじゃましました。」



モリアオガエルと卵塊

[感想]

初めて見るモリアオガエルの卵とその成体、赤色が鮮やかなハッチョウトンボのオスと地味目なメス、ツチアケビ、トキソウなど、さまざまな生き物たちに魅了された充実した一日だった。



サラサヤンマ



アサマイチモンジチョウ



ウラナミアカシジミ



ジンガサハムシ



丸山湿原

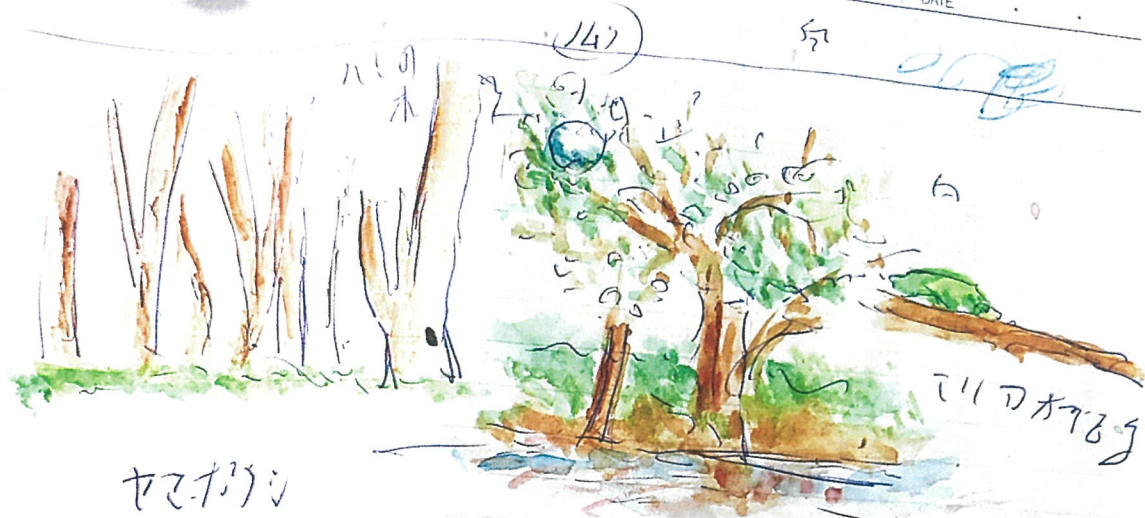


福田さんのイラストノート (丸山湿原にて)



16 5/13 -7 ス

No. DATE



ヤマボウシ

シチアヒ
ラノ科
日本固有

ふ(れい)
(腐生)
ラノ



芽仔ノヒキ
ガ

ツカ巻



コカシヤイ



花序には
装飾花が
多いのが
特徴

ヤブムラサキ

葉は鋸歯



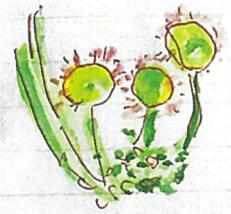
トキリカ



ツツミ



モジセンコウ



147-14 147

カ
ス

由
す

紅
塔子

No.

DATE



腹ひらき

A 腹ひらき



石ころ

葉身部は葉柄から
葉脈が伸びる
葉の網状脈を
ハジメ



↑ 葉柄が折れ
葉が落ちる

ハジメ

(オス)

粘り



ハジメ



ハジメ



ハジメ

カムシ



ハジメ



ハジメ

ハジメ

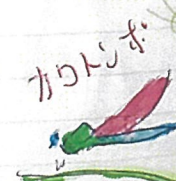


ハジメ

ハジメ

ハジメ

ハジメ



ハジメ

ハジメ

| | | | | |
|----|-----------|-----------|-----------|--|
| 1 | ユウゲシヨウ | アカバナ科 | マツヨイグサ属 | 多年草 南アメリカ原産 草丈20~60cm 午後遅くに開花して艶っぽいピンクの花色を持つことから名(実際は昼間でも開花した花が見れる) |
| 2 | コアジサイ | アジサイ科 | アジサイ属 | 落葉低木 日本原産 アジサイより全体的に小さく花序に装飾花が無い(対生 上2/3に規則正しい鋸歯あり) 花(甘い香りを放つ) |
| 3 | コガクウツギ | アジサイ科 | アジサイ属 | 落葉低木 ガクウツギよりも花が小さいことからの名 葉(艶あり 対生) 花(花びらに見えるのは装飾花の萼 芳香あり) |
| 4 | ウツギ | アジサイ科 | ウツギ属 | 落葉低木 幹が中空であることからの名 別名ウノハナ(卯月に咲くことからの名) 葉(両面に星状毛) 花(枝先に白色の円錐花序) |
| 5 | ムラサキゴケハナナ | アブラナ科 | オオアラセイトウ属 | 1年草 草丈50cm 中国原産 花(4弁の十字状 淡紫色) 葉(広く艶あり) |
| 6 | イグサ | イグサ科 | イグサ属 | 多年草 湿地や浅い水中に生育する抽水~湿地植物 草丈0.4~1.1m 別名燈心草 畳表の材料 葉(退化して無い) 地下茎から長い花茎を出し先端に小花の集まりを付ける |
| 7 | アリマコスズ | イネ科 | ササ属 | 稗(低くて細い 高さ30~60cm 径1~2mm 稗鞘に2種類の毛あり)葉(丸山湿原では隈取がみられた 長さ10cm前後) |
| 8 | ハチク | イネ科 | マダケ属 | 直径3~10cm 中国原産 開花周期は約120年 開花後は一斉に枯死する タケノコ4~6月食用 茶筌・花器などに利用 |
| 9 | コシアブラ | ウコギ科 | コシアブラ属 | 落葉高木 中国原産 日本では日本海側に多い 葉(5枚の掌状複葉 長い葉柄) 花(多数の黄緑色の花) 日当たりのいい場所に多い |
| 10 | タカノツメ | ウコギ科 | タカノツメ属 | 落葉高木 雌雄異株 日本特産種 葉(三出複葉 枝の先端に東生)花(多数の黄緑色の花) 美しい紅葉 コシアブラと共に山菜として食用に |
| 11 | タラ | ウコギ科 | タラノキ属 | 落葉低木 日当たりのいい山野に自生 樹皮(垂直に伸びる 大小の鋭い棘あり) 葉(幹の先端だけに 羽状複葉 付け根に鋭い棘) 花(多数の小さな白黄色の花) 古くから春の高級山菜として珍重 |
| 12 | ヤマウルシ | ウルシ科 | ウルシ属 | 落葉低木 雌雄異株 葉(新葉は枝先に集まる 葉軸は赤褐色 奇数羽状複葉) 花(黄緑色の小さな花を円錐状に) 8月下旬から紅葉する |
| 13 | ハンノキ | カバノキ科 | ハンノキ属 | 落葉高木 水辺を好み低地の湿地に見られる 雌雄同株 花粉症の原因 ヤシブシのような実 ミドリシジミの食草 |
| 14 | コバノガマズミ | ガマズミ科 | ガマズミ属 | 落葉低木 日本固有種 福島県以西 葉(両面に星状毛あるので触るとピロロド感あり 托葉あり) 花(ガマズミより小さくオシベが飛び出る) 果実(ガマズミよりやや大きい 赤色 食用) |
| 15 | ミヤコガマズミ | ガマズミ科 | ガマズミ属 | 落葉低木 花や葉をはじめ全体的にガマズミより小さい 葉(対生 托葉無し 光沢あり) 花(白色の多数の花を密に付ける) |
| 16 | ゴウソ | カヤツリグサ科 | スゲ属 | 多年草 湿地や水辺で生育 草丈30~50cm 根茎(叢生) 葉(線形)小穂(2~3個付き長い柄で下垂する) ゴウソの名は、田畑の周りに生える麻という意味で葉を使って物を束ねるのに用いられた |
| 17 | ヤチカワズゲ | カヤツリグサ科 | スゲ属 | 多年草 草丈30~60cm 日本固有種 和名「谷地蛙管」 湿地などに生育 葉(幅2mm) 小穂(茎頂に数個 金平糖のような形) |
| 18 | キキョウソウ | キキョウ科 | キキョウソウ属 | 1年草 草丈15~60cm 北アメリカ原産 茎、葉、萼など全体に白い毛あり 茎(直立 明瞭な稜あり) 花(茎を抱くように2~3個離れて付く 青紫色 5弁花) |
| 19 | ノアザミ | キク科 | アザミ属 | 多年草 草丈60~100cm 日当たりのいい山野に生育 葉(鋸歯の先硬くて鋭い刺になる) 花(筒状花のみ 紅紫色・淡紫色・白色) |
| 20 | コウゾリナ | キク科 | コウゾリナ属 | 越年草 草丈30~80cm 茎や葉がザラザラして手が切れそうなことからの名 花(黄色の舌状花のみ) 種子(羽毛状の冠毛の付いた瘦果) |
| 21 | ワラビ | コバノイシカグサ科 | ワラビ属 | シダ植物 成長すると0.5~1m 草原、谷地、原野など日当たりのいいところに群生 酸性土壌を好む 山菜 根から採れるワラビ粉 |
| 22 | クウバヤマボクチ | キク科 | ヤマボクチ科 | 多年草 日当たりのいい山野に生育 葉(下部の葉掌状に深裂 20cm前後 裏綿毛が密生) 花(特徴的な花 頭状花のみ 淡黄色から淡紫色 花が終わると上向く) |
| 23 | サルトリイバラ | サルトリイバラ科 | シオデ属 | つる性落葉半低木 雌雄異株 茎(節ごとに曲がりくねる 棘あり) 葉(円形 互生 全縁 光沢あり 托葉が変化した巻きひげ) 赤い実 |
| 24 | シンガシラ | シンガシラ科 | ヒリュウシダ属 | 常緑シダ植物 日本固有種 太い根茎で放射状にはをを広げる 獅子のたてがみに例えた名 栄養葉(40cm程) 胞子葉(直立 赤みを帯びる) |
| 25 | ムラサキシキブ | シソ科 | ムラサキシキブ属 | 落葉低木 葉(黄緑色 洋紙質 艶無し) 花(淡紅紫色) 果実(3mmほどの球形 紫色) |
| 26 | ヤブムラサキ | シソ科 | ムラサキシキブ属 | 落葉低木 葉(薄い洋紙質 対生 表面軟毛が密生し裏面星状毛・羽状毛が密生してピロロド感あり) ムラサキシキブより大型) 花(葉腋から薄紫色の小さな花 萼にも毛が密生) 果実(紫色) |
| 27 | シライトソウ | シュロソウ科 | シライトソウ属 | 多年草 草丈20~50cm 糸くずを束ねたような白色の花の姿からの名 別名雪の筆 |
| 28 | ガンビ | ジンチョウゲ科 | ガンビ属 | 落葉低木 別名カミノキ 奈良時代から製紙原料として用いられる葉(互生) 花(黄色 頭上に密生) 苗を植えて3年目に収穫 名塩紙 |
| 29 | スイカズラ | スイカズラ科 | スイカズラ属 | 常緑つる性低木 蔓(中空) 花(長さ3~4cm 葉の脇に二輪ずつ並んで咲く 芳香が強い 白色から淡いオレンジ色に変色 蜜が甘い) |
| 30 | オルレア | セリ科 | オルレア属 | 多年草 草丈30~60cm 園芸種 ヨーロッパ原産 まるでレースのような花姿 夏の暑さに弱いが寒さにとても強い |
| 31 | エンソギンギシ | タデ科 | ギンギシ属 | 多年草 草丈0.5~1.3m 別名ヒロハギンギシ ヨーロッパ原産 非常に繁殖力が強い 葉(大きく中脈が赤色を帯びることが多い) |

| | | | | |
|----|-----------|---------|----------|--|
| 32 | コバノミツバツツジ | ツツジ科 | ツツジ属 | 落葉低木 静岡以西 葉(3枚が一組で枝先に付く 開花と共に新葉が展開) 花(扁斗型 花粉が細い糸で繋がっている 雄蕊10本) |
| 33 | モチツツジ | ツツジ科 | ツツジ属 | 落葉低木 山梨県・静岡県から岡山県までの本州と四国に分布 萼・柄・葉・子房・果実に腺毛が多く粘着性を持つ |
| 34 | ネジキ | ツツジ科 | ネジキ属 | 落葉小高木 幹(捻じれば方は個体差が大きい 縦に薄く剥がれる) 葉(互生 全縁) 花(等間隔で下向きに白いつぼ型) |
| 35 | サワフタギ | ハイノキ科 | ハイノキ属 | 落葉低木 沢をふさぐように生えることからの名 葉(互生 艶無し 細鋸歯 表面粗い毛が散在) 花(枝先に白い円錐花序 雄蕊が飛び出る) 実(鮮やかな瑠璃色) |
| 36 | タンナサワフタギ | ハイノキ科 | ハイノキ属 | 落葉低木 発見場所のタンナは済州島の古名にちなんだ名 葉(互生 先端尾状に尖る 粗く鋭い鋸歯 表面ほとんど毛無し) 雌雄同株 花(枝先に白い円錐花序 雄蕊が飛び出る) 実(黒色) |
| 37 | ウラジロノキ | バラ科 | アズキナン属 | 落葉高木 葉(裏明らかに白い びっしりと細かな毛 大きな鋸歯と平行に走る葉脈が目立つ) 花(白い5弁花) 実(赤色 生食可) |
| 38 | ウワミズザクラ | バラ科 | ウワミズザクラ属 | 落葉高木 葉(先端が尾状に長く尖る) 花(長さ10cm前後 白い穂状でブラシのよう ソメイヨシノより遅い開花) 果実(甘くておいしい) |
| 39 | ヘビイチゴ | バラ科 | キジムシロ属 | 多年草 湿った草地に自生 匍匐茎で這う 葉(3出複葉) 花(黄色 5弁花) 果実(光沢無し 薄紅色 皺あり) 生薬 無毒 |
| 40 | ヤブヘビイチゴ | バラ科 | キジムシロ属 | 多年草 匍匐茎で這う 葉(3出複葉) 花(黄色 5弁花) ヘビイチゴより大きい 果実(光沢あり 赤色 皺なし) 無毒 |
| 41 | ジューンベリー | バラ科 | ザイフリボク属 | 落葉低木 北アメリカ原産 果実(生食・ジャム)が6月に収穫できることからの名 葉が完全に展開する前に白い5弁花を咲かせる |
| 42 | ミヤコイバラ | バラ科 | バラ属 | 落葉低木 日本固有種 葉(奇数羽状複葉) 枝や葉軸・托葉(葉柄と合着)に鉤状の棘と腺毛あり 花(白色の5弁花 雌蕊の花柱に毛が多い) |
| 43 | クリ | ブナ科 | クリ属 | 落葉高木 雌雄同株で雌雄異花 虫媒花 各栽培品種の原種 山野に自生するものは、シバグリ・ヤマグリと呼ばれる |
| 44 | ホンゴウソウ | ホンゴウソウ科 | ウエマツソウ属 | 腐生植物 暗い林床下の落ち葉の間に生える 地上茎3~5cm 花(7~10月に開花) 三重県橿町本郷の樹林で発見されたことからの名 |
| 45 | イシモチソウ | モウセンゴケ科 | モウセンゴケ属 | 多年草 食虫植物 草丈10~30cm 葉の腺毛に小石が引付くといわれている名 茎生葉(三日月型の捕虫葉) 花(2~5個の白い5弁花をつける 午前10時頃に開花して午後閉じる) 盛夏に休眠 |
| 46 | センモウゴケ | モウセンゴケ科 | モウセンゴケ属 | 多年草 食虫植物 湿地に生育 放射状に出ている葉にある粘毛から甘い香りの粘液を分泌して虫を捕獲 |
| 47 | ソヨゴ | モチノキ科 | モチノキ属 | 常緑小高木 株立ち 葉(互生 光沢あり 全縁で波打つ) 雌雄異株 花(長い柄の先に小さな白い花) 果実(赤く熟す) |
| 48 | ヤマボウシ | ミズキ科 | ミズキ属 | 落葉小高木 中心に球状に集まって咲く花を僧侶の頭、白い総苞片を頭巾に見立て、山法師という名に 総苞片(ピンク・クリーム色あり) |
| 49 | タムシバ | モクセイ科 | モクレン属 | 落葉高木 日本固有種 別名カムシバ コブシに似るが葉が細長く裏が白色を帯びる 花(葉の展開前に10cmの芳香のある白い6弁花) |
| 50 | ツチアケビ | ラン科 | ツチアケビ属 | 腐生植物(葉は無く養分の全てを共生菌に依存 ナラタケと共生) 草丈50~100cm 日本固有種 全体が黄色・濃いピンク色 花(2cm クリーム色) 果実(6~10cmの真っ赤なバナナのような) |
| 51 | オオバノトンボソウ | ラン科 | ツレサギソウ属 | 多年草 草丈30~60cm 別名ノヤマノトンボ 茎(稜あり) がっしりとした感じ 葉(互生 上の物ほど小さい) 花(黄緑色 10~25弧が下向きに トンボの姿に似ている) |
| 52 | トキシソウ | ラン科 | トキシソウ属 | 多年草 草丈10~30cm 花の色がトキの翼に似ていることからの名 当たりのいい湿地に生育 生育葉(一茎に1枚のみ) 花(淡紅色の花を1個)茎の先に 絶滅危惧種 |
| 53 | ササユリ | ユリ科 | ユリ属 | 多年草 日本特産種 葉や茎がササに似ていることからの名 初花を咲かせるまでに種子から約7年以上の歳月がかかる |

昆虫綱

| | | | | |
|---|-------------|---------|----------|--|
| 1 | トゲアリ | アリ科 | トゲアリ属 | 大きさ7~8mm 女王アリは12mm 働きアリは黒色で赤褐色の胸部に3対の鋭い刺を持つ 他の蟻の巣を乗っ取る |
| 2 | アサヒナカワトンボ | カワトンボ科 | カワトンボ属 | 大きさ42~57mm 日本固有種 金緑色の胴体を持つ オスには透明の翅を持つタイプと褐色の翅を持つタイプがある メスは透明 |
| 3 | ウラナミアカシジミ | シジミチョウ科 | アカシジミ属 | 大きさ16~22mm 翅の裏がオレンジと黒のきれいな縞模様 幼虫の食草はクヌギ・コナラ・アベマキなど |
| 4 | アサマイチモンジチョウ | タテハチョウ科 | オオイチモンジ属 | 大きさ27~38mm 黒字に鮮やかな一文字模様 日本固有種 幼虫の食草はスイカズラ・ニシキウツギなど |
| 5 | テングチョウ | タテハチョウ科 | タテハチョウ属 | 大きさ19~29mm 天狗のように顔の先が尖っている茶色っぽいチョウ 低山地の雑木林に多い 成虫のまま越冬 幼虫の食草はエノキ |
| 6 | ヒオドシチョウ | タテハチョウ科 | タテハチョウ属 | 大きさ32~42mm 翅表鮮やかなオレンジ色に黒い紋 裏は地味で閉じると目立たない 幼虫の食草はエノキ 成虫で越冬する |
| 7 | カメノコテントウ | テントウムシ科 | テントウムシ属 | 大きさ8~11.7mm 肉食の赤と黒の特徴的な模様を持った大きなテントウムシ 光沢強く美しい 冬樹皮の隙間や岩陰に集まり越冬する |
| 8 | シオヤトンボ | トンボ科 | シオカラトンボ属 | 大きさ37~48mm(アカトボとほぼ同じ) 日本特産種 オス(成熟すると青白い粉で覆われる) メス(黄色) |
| 9 | ハラヒロトンボ | トンボ科 | ハラヒロトンボ属 | 大きさ33~40mm 腹部の幅が広くてポテッとした感じ オスは濃い青色 メスは鮮やかな濃いめの黄色と黒色のまだら模様 |

両性綱

| | | | | |
|---|---------|--------|--------|---|
| 1 | モリアオガエル | アオガエル科 | アオガエル属 | 大きさオス(42~62mm)メス(59~82mm) 日本固有種 指先の吸盤で木の上の生活に適する 体表艶無し 目の虹彩が赤褐色 肉食性 |
|---|---------|--------|--------|---|

ミヤマガズミ・ガズミ・コバノガズミの葉の見分け方

ミヤマガズミ : 葉の先(尾状に伸びて鋭く尖る)
ガズミ : 葉の先(急に細まって鋭く尖る)
コバノガズミ : 葉の先(尖りが鈍い)

葉柄(長い絹毛が散生)
葉柄(開出毛と星状毛が密生)
葉柄(短く星状毛が密生)

葉の表面が無毛
触感(ざらつく)
触感(ピロード感あり)

ムラサキシキブ・コムラサキ・ヤブムラサキの違い

ムラサキシキブ : 葉の鋸歯はほぼ全体、両面とも無毛
コムラサキ : 葉の鋸歯は上方のみ
ヤブムラサキ : 葉や実にも毛が多い ピロード感あり

花序は葉腋か、わずかに上から出る
花序は葉腋より少し上から出る
花序にも毛あり、葉裏にできる

果実、まばら
果実、密生する
果実、紫色・白色

【武田義明先生と里山を歩こう会「活動報告書」六甲高山植物園】

2022/7/3 作成当番：越間

1 活動日

2022年7月1日（金）、午前11時から午後2時、天候：晴れ、気温：37℃

2 場所

六甲高山植物園（〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲 4512-150

TEL:078-891-1247、FAX:078-891-0137)

[六甲高山植物園 | 神戸・六甲山 公式おでかけサイト \(rokkosan.com\)](http://rokkosan.com)

3 参加者：15名（武田・大野両先生を含む）

4 活動概要

○阪急・六甲駅南口 B.S / 09:58 阪急六甲/神戸市営バス・六甲ケーブル下行き(210円)～10:14着、【参加者14名】、10:20 発六甲ケーブル下・六甲山観光六甲ケーブル・六甲山上行き(600円)10:30着/10:32 発六甲山上～徒歩～10:33着/10:35 発六甲ケーブル山上駅/六甲山観光バス(山上駅-ロープウェイ山頂駅テラス経由)・六甲有馬ロープウェイ山頂駅行き(210円)10:41着 10:43 発、高山植物園前(東口)/六甲山観光バス：徒歩1分 10:44着、【大野先生と合流し、計15名】、六甲高山植物園(入園料700円)

△11時～散策活動開始～ロックガーデン(梅雨が短かったせいか、エーデルワイスなどの色がイマイチ)～休憩所近くのベンチ・テーブルで昼食・おやつタイム(12:15～12:45)「近くにササユリ」～小便小僧広場【モリアオガエルの卵&オタマジャクシ(多数)&ミズスマシ(珍しく発見)】

△14時：西口で大野先生と解散、14:20 発・バス～ロープウェイ(山上でのソフトクリームを美味しそうに頬張る人もチラホラ)～バスで各自帰途へ

5 写真&動画(by Koshima)





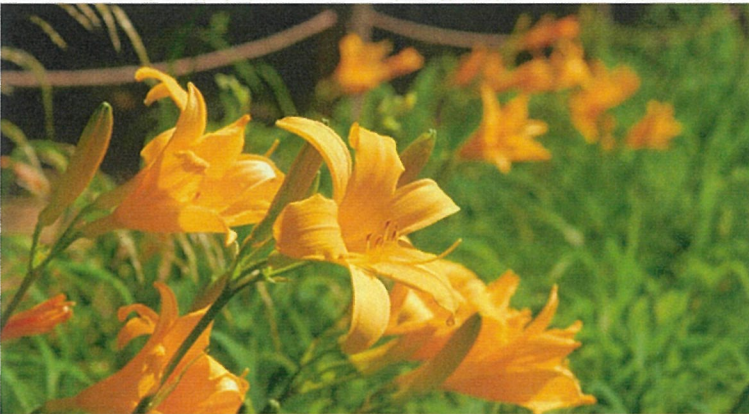


20220701
ミズスマシ動画(たった1

6 ネット画像



キキョウ (咲き始め)



ニッコウキスゲ (見頃)



カライトシラ (咲き始め)



ハルカイソウ (見頃)



ヒメシャジン (見頃)



カキラン (見頃)



ナツツバキ (咲き始め)



ヒメユリ (見頃)



イブキジャコウソウ (見頃)



オカトラノオ (見頃)



クガイソウ (見頃)



ノハナショウブ (見頃)



ホタルブクロ (見頃)

[開花状況 | 六甲高山植物園 \(rokkosan.com\)](http://rokkosan.com)

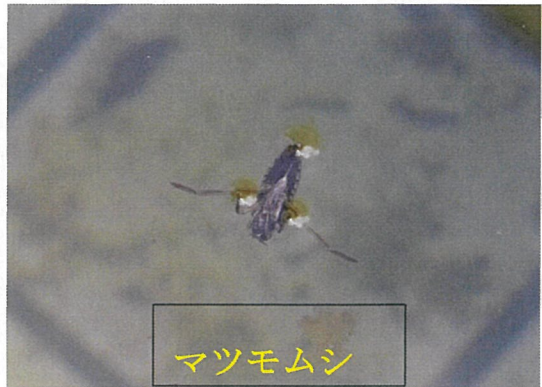
7 その他

展覧代からの眺望(朝・日中・夕方・夜景)

[天覧台・TENRAN CAFE | 神戸・六甲山 公式おでかけサイト \(rokkosan.com\)](http://rokkosan.com)



ミズスマシ



マツモムシ



ヤマブキシヨウマ













20220701 「六甲高山植物園」写真 by 武田先生 (20220711 編集者：越間)

| | | | | |
|----|----------|----------|-----------|--|
| 1 | シチダンカ | アジサイ科 | アジサイ属 | 落葉低木 ヤマアジサイの変種 装飾花の萼片が七段に重なり星状に見えることから名 六甲山で1959年に再発見された |
| 2 | タマアジサイ | アジサイ科 | アジサイ属 | 関東から岐阜県の山地に自生 葉(硬い毛が密生 ざらつく) 径3~3.5cmの大きな蕾から付いた名 |
| 3 | ヤマアジサイ | アジサイ科 | アジサイ属 | 落葉低木 沢筋に生えるのでサワアジサイともいわれる 葉(やや薄く艶がなく先が尖る) 花(中心部に多数の両性花が集まり周囲に飾り花を散らす) |
| 4 | クレンゲシヨウマ | アジサイ科 | クレンゲシヨウマ属 | 多年草 草丈80~120cm レンゲシヨウマ(キンボウゲ科)に似ることからの名だが似ていない 紀伊半島・四国・九州に自生 葉(掌のような形) 花(筒状の黄色の5弁花) 絶滅危惧II類 |
| 5 | クサアジサイ | アジサイ科 | クサアジサイ属 | 多年草 草丈20~80cm 日本固有種 草本でアジサイのような花が咲くことからの名 やや湿った林内に生育 花(3個の淡紅色~白色の萼片の装飾花と両性花) |
| 6 | ワサビ | アブラナ科 | ワサビ属 | 多年草 日本原産 山地の溪流や湿地で生育 葉(長い葉柄 葉身は心形で光沢あり) 花(小さな白色の十字形の4弁花) 江戸時代から本格的に栽培されている |
| 7 | ノハナシヨウブ | アヤメ科 | アヤメ属 | 多年草 園芸種ノハナシヨウブノの原種 草丈40~100cm 水辺・湿原・湿った草原に自生 有毒植物 花(赤紫色) |
| 8 | 断崖の女王 | イワタバコ科 | | 多肉植物 正式名シンニギア・レウコトリカ 原産地で野生のものが崖にへばりつくように生えることからの名 葉(表面細くて柔らかい毛でフワフワ) 花(オレンジ色で筒状 毛あり) |
| 9 | クガイソウ | オオバコ科 | クガイソウ属 | 多年草 草丈80~130cm 茎に5~10枚輪生する葉が層になって付くので九階草・九蓋草の名 花(ブラシのような穂状で淡紫色) 生薬 |
| 10 | ヒメシャジン | キキョウ科 | ツリガネニンジン科 | 多年草 草丈20~60cm 本州中部地方以北の亜高山から高山帯の砂礫地に自生 日本固有種 花(青紫色 鐘形) |
| 11 | ホタルブクロ | キキョウ科 | ホタルブクロ属 | 多年草 草丈30~80cm 別名釣鐘草 花(白・紫・ピンク色 大きく釣鐘形でうつむく) 全体に毛あり |
| 12 | ウスユキソウ | キク科 | ウスユキソウ属 | 多年草 草丈25~50cm 低山帯から亜高山の岩場 花はエーデルワイスと比べて白い花びら(苞葉)の幅が厚い |
| 13 | エーデルワイス | キク科 | ウスユキソウ属 | 多年草 草丈20~30cm 別名セイヨウウスユキソウ ヨーロッパアルプスが生息地 高山の石灰岩地 全体が綿毛で覆われる 花(星のように長くて白い花弁に見える苞葉) 薬用 |
| 14 | オオカニコウモリ | キク科 | コウモリソウ属 | 多年草 草丈30~100cm 山地のやや湿り気のある落葉樹林の林床に群生 葉(長い葉柄 5角形に近い腎形 カニコウモリより大型) 頭花(両性の筒状花のみ) |
| 15 | カニコウモリ | キク科 | コウモリソウ属 | 多年草 草丈60~100cm 日本固有種 亜高山帯の針葉樹林の林床に群生 葉(互生 下の葉は長い葉柄あり 5角形に近い腎形) 頭花(白色の両性の筒状花のみ) |
| 16 | ノコギリソウ | キク科 | ノコギリソウ属 | 多年草 草丈50~100cm 葉型から鋸草 標高1000m以上の高地に生育 花(小さな花が固まって咲く 花色は地域による変異が多い) |
| 17 | ハンカイソウ | キク科 | メタカラコウ属 | 多年草 草丈60~100cm 湿地に生育 花(10cm前後で2~8個の黄色の頭花を付ける) 葉(深く切れ込んだ大きな葉が特徴的) 漢の有名な武将の名ハンカイにちなんで付けられた名 |
| 18 | マルバダケブキ | キク科 | メタカラコウ属 | 多年草 草丈80~120cm 山地のやや湿り気のある落葉樹林の林床に群生 葉(フキの様に丸く大きい) 花(8cm程で黄色 筒状花と舌状花あり) |
| 19 | ウラジロギボウシ | キジカクシ科 | ギボウシ属 | 多年草 日本固有種 愛知と静岡県境の山地の岩場に自生する 葉(長さ20~30cm 裏が粉白色 1株に1~2枚のみ) 花(白・薄紫色 先端に集まる) |
| 20 | オオバギボウシ | キジカクシ科 | ギボウシ属 | 多年草 草丈50~100cm 湿り気のある所に生育 葉(長さ30~40cm 幅10~15cm) 花(白・淡紫色で漏斗型 花茎の上半分に花を付ける) 山菜 |
| 21 | オトメギボウシ | キジカクシ科 | ギボウシ属 | 多年草 草丈15~30cm 韓国済州島原産 ギボウシ属の中で最小品種 花(1日花を下から順に咲かず 淡紫色) |
| 22 | カンザシギボウシ | キジカクシ科 | ギボウシ属 | 多年草 草丈40~60cm 湿った岩場・崖地 葉(長さ7~15cm 光沢無し) 花(淡紫色の鐘形 1日花) 花が花茎の先端に集まっている様子がカンザシに似ることからの名 |
| 23 | マイズルソウ | キジカクシ科 | マイズルソウ属 | 多年草 草丈3~20cm 亜高山帯の針葉樹林に群生 葉の形が鶴が羽を広げて舞を踊っているように見えることからの名 葉(ハート形) 花(4~5月つづつぶの白い花) 実(ガラス玉のように赤く透き通る) |
| 24 | チョウジソウ | キョウチクトウ科 | チョウジソウ属 | 多年草 草丈40~80cm 有毒植物(全草にアルカイド含む) やや湿った草地に自生 絶滅危惧II類に指定 花(5弁花 薄青色) |
| 25 | ハクサンイチゲ | キンボウゲ科 | イチリンソウ科 | 多年草 草丈20~40cm 日本固有種 高山植物の代表種 中部地方以北から東北の亜高山~高山の湿った草原に生育 葉(3出複葉) 花(5~7枚の白い萼片が見える) 白山で発見されたことからの名 |
| 26 | オオヤマオダマキ | キンボウゲ科 | オダマキ属 | 多年草 草丈40~80cm ヤマオダマキと形状・大きさは変わらない 距が先端近くで内側に曲がる |
| 27 | ヤマオダマキ | キンボウゲ科 | オダマキ属 | 多年草 草丈30~70cm 花(径3cm程 下向きに咲くので直立の距が目立つ 萼は紫褐色 花弁淡黄色) 花の形が糸をまく道具に似ることからの名 |

| | | | | |
|----|-----------|---------|------------|--|
| 28 | ミヤマオダマキ | キンボウゲ科 | オダマキ属 | 多年草 草丈10~20cm 日本原産 亜高山から高山帯の岩場やザレ場や草地に生育 花(青紫~白色 下向きに咲く) 夏の日差しと群れに弱い |
| 29 | シキンカラマツ | キンボウゲ科 | カラマツソウ属 | 多年草 草丈0.5~2m 自生は福島・群馬・長野・茨城県に分布 湿り気のある草地に生育 葉(互生) 花(花弁は無く淡紅紫色の花弁状の萼片 黄色い雄蕊) 花が錦のごとく美しい紫なので紫錦唐松という |
| 30 | オオミスミソウ | キンボウゲ科 | スハマソウ属 | 多年草 草丈10~15cm 花(花茎の先に単生し花弁無し、花弁状の萼が目立つ 白・ピンク・紫・淡青・赤など多彩) 別名雪割草 |
| 31 | ダンコウバイ | クスノキ科 | クロモジ属 | 落葉低木 実・葉・材が香り花が梅に似ることからの名 クロモジと同様に枝の材料に利用 雌雄異株 花(早春葉の展開より先にウコン色の花を咲かす) アブラチャン・シロモジ・クロモジと似る |
| 32 | コマクサ | ケシ科 | コマクサ属 | 多年草 草丈10~15cm程 高山の砂礫地に自生 葉(パセリの様 白く粉を帯びる) 花(淡紅色) 高山植物の女王 蕾の形が馬(駒)に似ていることからの名 |
| 33 | オカノトラノオ | サクラソウ科 | オカトラノオ属 | 多年草 草丈40~100cm 地下茎で群生する 茎・葉に毛が密生 花(茎の先端に15cmの白色の花穂を付け、途中で横向きに曲がる) |
| 34 | クリンソウ | サクラソウ科 | サクラソウ属 | 多年草 草丈30~90cm 日本固有種 比較的湿潤な場所に生育 日本のサクラソウ科の仲間では最大 花(濃紅紫色 花茎を中心に数段円状に付く) ちくき湿原群生地(7カ所の群生地に40万株) |
| 35 | サラサニア | サラサニア科 | サラサニア属 | 多年草 草丈15~80cm 湿地に生育 北アメリカ原産 葉が筒状になった食虫植物 3~5月に咲くユニークな形の花 |
| 36 | ザゼンソウ | サトイモ科 | ザゼンソウ属 | 多年草 冷帯・温帯山岳地の湿地に生育 開花時発熱して雪を解かしいち早く受粉の確立を上げる 開花後に40cmの大型の葉を展開 |
| 37 | マムシグサ | サトイモ科 | テンナンショウ属 | 多年草 有毒植物(シュウ酸カルシウム含む) 茎の色や姿がマムシの肌に見えることからの名 雌雄異株 花序先端からの突起物無し |
| 38 | ユキモチソウ | サトイモ科 | テンナンショウ属 | 多年草 花の中央に雪のように白い餅に見える付属体があることからの名 雄花と雌花が性転換する |
| 39 | ミスバショウ | サトイモ科 | ミスバショウ属 | 多年草 山地の湿地に生育 花(中心部の黄色の肉穂花序 白色の仏炎苞) 葉(50~100cmで大型 バショウ {バナナの仲間} に似る) |
| 40 | クルマバナ | シン科 | トウバナ属 | 多年草 草丈20~80cm 日当たりの良い山野の道端に生育 花が数段の仮輪に輪生することからの名 茎(4角形 毛あり) 葉(両面に毛あり) 花(唇形 淡紅色) |
| 41 | シライトソウ | シュロソウ科 | シライトソウ属 | 多年草 草丈20~50cm 低山の森林や湿った崖や斜面に生える 葉(ショウジョウバカマに似る) 花(5~6月 10~20cmの総状花序を出し白花を多数付ける) |
| 42 | ショウジョウバカマ | シュロソウ科 | ショウジョウバカマ属 | 多年草 やや湿った場所に生育 葉(細長くて光沢あり根元から放射状に広がる) 花(淡紅・紫・白色 6枚の花弁を持つ花が集まって丸く見える) 花茎(開花時は10cm前後で花後急激に伸びて30~50cmに) |
| 43 | ツクバネソウ | シュロソウ科 | ツクバネソウ属 | 多年草 15~40cm 日本固有種 葉(茎頂に4個が輪生 葉柄無し) 花(茎頂に1個上向きに付く 淡黄緑色) 果実(径1cm程の羽突きの子に似た黒紫色の実) |
| 44 | スイレン | スイレン科 | スイレン属 | 多年性水生植物 下記の通り |
| 45 | ニッコウキスゲ | ススキノキ科 | ワスレグサ属 | 多年草 草原・湿原を代表する花 花(5~8月 黄色 ラップ状 花に見えるガクが3枚なので3枚花弁) 1日花 人間だけでなくシカも大好物なので食害が深刻 |
| 46 | イブキトラノオ | タデ科 | イブキトラノオ属 | 多年草 草丈30~120cm 高山~亜高山帯の草原に群生 伊吹山に多い 淡紅紫~白い花穂を虎の尾に見立てたことからの名 葉(上の葉の葉柄無し、下の葉の葉柄長い) 生薬 |
| 47 | コケモモ | ツツジ科 | スノキ属 | 常緑小低木 樹高5~15cm 亜高山から高山帯のハイマツの下や岩混じりの草地に生育 葉(密に互生 深緑色) 花(紅色の鐘形で2~8個下向きに付ける) 実(赤色 食用) |
| 48 | ナツツバキ | ツバキ科 | ナツツバキ属 | 落葉高木 別名シャラノキ 葉(明るい黄緑色) 花(1日花 ツバキに似た白い5弁花) 幹(サルスベリ・リョウブ・ヤナボウシのような独特の縞模様ができる) |
| 49 | ツリフネソウ | ツリフネソウ科 | ツリフネソウ属 | 1年草 草丈40~80cm 低山~山地のやや湿った場所に生育 花茎にぶら下がる紅紫色の花が花器の釣船に見えることからの名 距(くるりと丸まる) |
| 50 | センジュガンビ | ナデシコ科 | センノウ属 | 多年草 草丈30~100cm 山地~亜高山の湿った林に生育 花(花びら・雄蕊と雌蕊の先端は白色で清楚 直径2cm 5枚の花弁の縁がギザギザ) 花が中国産のガンビに似て日光の千鳥ヶ浜で発見されたことからの名 |
| 51 | カワラナデシコ | ナデシコ科 | ナデシコ属 | 多年草 秋の七草 草丈30~80cm 別名ヤマトナデシコ 草原・川原等の開けた環境を好む 花(白・ピンク色 先が糸状花弁5枚) |
| 52 | ミヤマナデシコ | ナデシコ科 | ナデシコ属 | 多年草 草丈8~20cm 高山帯の岩場 カワラナデシコと比べると花弁の切れ込みが浅い 花弁の基部に毛が密生する 花(紅紫色) |
| 53 | ハス | ハス科 | ハス属 | 多年性水生植物 インド原産 下記の通り |
| 54 | ハナイカダ | ハナイカダ科 | ハナイカダ科属 | 落葉低木 雌雄異株 花(葉の中央に淡緑色1~2個(雌花)または数個(雄花)の花を付ける) 実(熟すと黒色) 若葉は山菜・薬用 似た花にナギイカダヤルスカスなど |
| 55 | ナガバモミジイチゴ | バラ科 | キイチゴ属 | 落葉低木 棘が多い 葉の形がモミジのように裂けることからの名 花(葉の展開直後に白い花を下向きに咲かせる) 実(橙黄色 美味しい) |

| | | | | |
|----|-------------|---------|-----------|--|
| 56 | キンロバイ | バラ科 | キジムシロ属 | 落葉小低木 樹高30~100cm 別名金露梅 北海道から本州北部の高山帯に自生 葉(濃緑色 奇数羽状複葉) 花(黄色の5弁花) |
| 57 | ハクロバイ | バラ科 | キジムシロ属 | 落葉小低木 樹高30~50cm程 別名銀露梅 本州(南アルプス・大台ヶ原)四国(剣山)の高山帯の岩場や草地に自生 葉(濃緑色 奇数羽状複葉) 花(白色の5弁花) |
| 58 | シモツケソウ | バラ科 | シモツケソウ属 | 多年草 草丈30~100cm 日本固有種 群落をつくる 花(白・淡紅色 たくさんの雄蕊が長い) シカによる食害を受けて減少している |
| 59 | チングルマ | バラ科 | ダイコンソウ属 | 落葉小低木 草丈10cm程 東日本に分布 高山の雪渓周辺の多湿地に群落で自生 葉(羽状複葉) 花(白い5弁花) 実(赤っぽい綿毛で覆われる) 鮮やかな赤橙色に紅葉する |
| 60 | タカネナナカマド | バラ科 | ナナカマド属 | 落葉低木 樹高1~2m 北海道・本州中部地方以北の亜高山から高山に生育 日本産ナナカマド類では最も標高の高い所に生える 葉(20cm程の奇数羽状複葉 真っ赤に紅葉する) |
| 61 | タンナショウマ | バラ科 | ヤマブキショウマ属 | 多年草 草丈15~30cm タンナは韓国済州島の古名 別名タンナチダケサシ 葉や茎が赤味を帯びる 花(5~7月 白色の穂状) 葉(細かく深く切れ込む) |
| 62 | ヤマブキショウマ | バラ科 | ヤマブキショウマ属 | 多年草 草丈30~80cm 雌雄異株 葉がヤマブキに草姿がトリアシショウマに似ていることから名 低山地~高山帯に生育 花(黄白色 10~30cm) 山菜 |
| 63 | トウチソウ | バラ科 | ワレモコウ属 | 多年草 草丈30~70cm 日本固有種 ワレモコウの仲間 花(白色・紅色 穂状で上部から開花 穂はワレモコウより長い) |
| 64 | ベニバナヤマシャクヤク | ポタン科 | ポタン属 | 多年草 草丈30~50cm 葉(2回3出複葉) 花(ピンク・白色 3~4cmの一重) 環境省絶滅危惧II類 種が発芽するのに2年、蕾になるまで3~4年、花の色の確認まで5~6年かかる 毒性があるのでシカの食害から逃れられている 京都府美山町内久保で毎年鑑賞会が春と秋に行われている |
| 65 | マツムシソウ | マツムシソウ科 | マツムシソウ属 | 多年草 草丈60~90cm 日本固有種 山地の草原に生育 葉(対生 羽状に裂ける) 花(径4cm程 薄紫色) 各地で減少傾向にある 薬草 |
| 66 | アサザ | ミツガシワ科 | アサザ属 | 多年草 浮遊性植物 草丈5~20cm 水路・小川・池に生育 葉(ジュンサイに似たハート型) 花(黄色~橙黄色の5弁花 1日花 花弁の周りがフリルの様) 絶滅危惧種に指定 万葉集に登場 |
| 67 | ミツバウツギ | ミツバウツギ科 | ミツバウツギ属 | 落葉低木 ウツギの仲間ではない 葉(3出複葉) 花(半開きの小さな5枚の花弁・萼共に白色) 若葉は山菜 材は箸に加工 |
| 68 | オオバオヤヤマレンゲ | モクセイ科 | モクレン属 | 落葉低木 花(雄蕊の紅色が濃く華やか 5~6月に10cm程の大ぶりな白い花 コサージュにしたいような花) オオヤマレンゲより葉が大きく雄蕊が鮮やか |
| 69 | アカショウマ | ユキノシタ科 | チダケサシ属 | 多年草 草丈40~80cm 日本固有種 葉(3回3出複葉 先は尾状に尖る) 花(白色の小さな萼を密に付ける) 株元が赤黄色を帯びることからの名 |
| 70 | ウバユリ | ユリ科 | ウバユリ属 | 多年草 山地の森林に自生 花を咲かせた時には葉が落ちることから姥百合という名に 葉(長い葉柄 縦長ハート型) 花(緑白色) |
| 71 | コバイケイソウ | ユリ科 | シュロンソウ属 | 多年草 草丈0.5~1m 山地~高山の湿った場所に生育 バイケイソウに似ているが小型であることからの名 有毒植物 |
| 72 | バイケイソウ | ユリ科 | シュロンソウ属 | 多年草 草丈1~1.5m 山地~高山の湿った場所に生育 花がウメ、葉がケイランに似ることからの名 有毒植物(山菜のオオバギボウシに似るので注意) 殺虫剤に使用 |
| 73 | ホトトギス | ユリ科 | ホトトギス属 | 多年草 草丈40~100cm 日本固有種 花弁の斑点模様が野鳥のホトトギスの胸の模様に似ていることからの名 岩場の斜面などの湿った場所を好む |
| 74 | ササユリ | ユリ科 | ユリ属 | 多年草 中部地方以西の山地の草原や明るい森林に生育 日本固有種で日本を代表するユリ 葉(互生) 花(淡ピンク色 葯が赤褐色で良い香り) 花を付けるまで7年かかる |
| 75 | ヒメユリ | ユリ科 | ユリ属 | 多年草 草丈30~100cm 日当たりの良い草地や疎林にまばらに生育 茎は直立 花(緋色~橙赤色で上向きに咲く) 小さく可憐な見た目から姫と付いた |
| 76 | カキラン | ラン科 | カキラン属 | 多年草 草丈30~80cm 日当たりの良い温帯の湿地や湿った崖に生育 花(橙黄色) 側花弁の色を柿の葉の色と感じて付けられた名 |
| 77 | ミズチドリ | ラン科 | ツレサギソウ属 | 多年草 草丈50~90cm 日当たりの良い水源地に生育 芳香のある白い花が鳥が飛んでいるようなので水千鳥という名に |
| 78 | トキソウ | ラン科 | トキソウ属 | 多年草 日当たりの良い原野や湿地にはえる 花(茎頂に1つ横向きに咲く 紅紫色) 環境省より準絶滅危惧(NT)の指定 |
| 79 | ヒナラン | ラン科 | ヒナラン属 | 多年草 草丈5~20cm 湿った岩盤に生育 葉(茎の下部に1枚) 花(淡紅紫色で小さく10~15個穂状に付く) 絶滅危惧I B類 |

昆虫綱

| | | | | |
|---|-----------|--------|----------|---|
| 1 | クロイトトンボ | イトトンボ科 | クロイトトンボ属 | 大きさ27~37mm 黒っぽくて胸部側面と腹部の先が青い 平地の池や沼に生育 オス(成熟すると胸部に藤色の粉が吹く) メス(緑色型と青色型の2種存在) |
| 2 | スジグロシロチョウ | シロチョウ科 | モンシロチョウ属 | 大きさ24~35mm 林縁や溪流沿いで見られるもしモンシロチョウに似たチョウ 幼虫の食草はアブラナ科の植物 高山植物園ではワサビの周りで飛んでいた |

| | | | | |
|---|-------|--------|--------|---|
| 3 | マツモムシ | マツモムシ科 | マツモムシ属 | 水生昆虫 水生カメムシの仲間 大きさ11.5~14mm 長い後ろ足をオールのように使い背泳ぎで泳ぐことで有名 飛ぶときは反転して飛ぶ肉食(捕食して体液を吸汁する) |
| 4 | ミズスマシ | ミズスマシ科 | | 小型の甲虫 大きさ6.0~7.5mm 黒色 日本固有種 池や河川の緩流域に生育 絶滅危惧種 4つ目がある 肉食 |

両性綱

| | | | | |
|---|---------|--------|--------|---|
| 1 | モリアオガエル | アオガエル科 | アオガエル属 | 大きさオス(42~62mm)メス(59~82mm) 日本固有種 指先の吸盤で木の上の生活に適する 体表艶無し 目の虹彩が赤褐色 肉食性 |
|---|---------|--------|--------|---|

ノハナショウブ・アヤメ・カキツバタの違い

ノハナショウブ：花びらの基部に黄色のすじが入る 湿り気が多い場所に生育
アヤメ： 網目模様が入る 乾いた草原に生育
カキツバタ： 白色から淡黄色のすじが入る 水中・ノハナショウブノより湿った場所に生育

ナツツバキ・ヒメシャラ・沙羅双樹の違い

ナツツバキ：落葉高木 花がツバキ大になる 日本での沙羅双樹とした 平家物語の冒頭に登場
ヒメシャラ：落葉高木 花はあまり目立たない 赤く紅葉する アオギリ・シラカバと並ぶ『日本三大美幹』
サラソウジュ：インド原産のフタバガキ属の熱帯の常緑樹 春に芳香のある白い花 釈迦入滅(陰暦2月15日)の時あった木

スイレン・ハスの違い

スイレン： 葉(水面に浮いているように見える 光沢があり円形で切れ込みあり 水をはじかない)
花(水面に浮くように、あるいは少し水面から立ち上がって咲く 径10cm程 花後は水中に沈む ピンク・白・黄色・赤・紫色・青紫色)
ハス： 葉(水面から長く伸びた先に葉を広げる 光沢無し 水を弾く 丸くて大きな1枚の葉)
花(水面から1m以上高く伸ばした先に咲く 径20cm ピンク・白・黄色)

武田先生のグループが表彰されました!!

「『特定外来植物から吹田の自然を守る会』が吹田市から環境表彰を受けました。昨年はコロナで活動ができていませんでしたが今年はずいぶんもやっています。今年も少しずつでもやっていきたいと思います。」

オオキンケイギクは少し駆除した程度では、撲滅できませんが、この活動が他の人に知ってもらって駆除してもらえば、少しは減るかなと思います。」 (武田先生のコメント 2022/6/30)



武田先生と里山を歩こう会

2022年9月2日

京都府立植物園

記録 岩本亮一

集合場所：京都府立植物園北山門 10時

参加人数：17名

行程：ワイルドガーデン ⇒ 針葉樹林 ⇒ 水琴窟 ⇒ ポタニカル・ウインドウ ⇒ 絶滅危惧種園及び中国植物園 ⇒ 四季彩の丘 ⇒ なからぎの森 ⇒ 半木神社 ⇒ はす池 ⇒ 観覧温室 ⇒ 植物生態園 ⇒ 針葉樹林 ⇒ 北山カフェ



感想： 今朝の最低気温22.1℃、猛暑の今夏もやっと秋の気配が漂う中、京都府立植物園を訪ねた。当植物園は、規模及び植栽植物の種類共に日本最大級の観覧温室もあり、開園後間もなく100年を迎える。

その大温室で、世界の熱帯植物や冷房室での高山植物、暗室の暗闇の中の植物など、初めて見る植物を観察できて素晴らしかった。

園内唯一の自然林である半木(なからぎ)の森や各地の山野に自生する植物をできるだけ自然に近い状態で植栽された植物生態園も見応えがあった。

日中は32℃超えの真夏日と暑かったにも関わらず、思いがけずに大勢の参加で久しぶりに色々話もはずみ、楽しい一日だった。

また、甲子園6個分の大きな植物園はとて1日では回り切れず、またの機会の楽しみになった。季節を替えて桜の季節に花見をかねての見学も粋な計らいかなとも…。

2022/9/2 京都府立植物園

| | | | | |
|----|--------------------|----------------|---------|--|
| 1 | オクラ | アオイ科 | トロロアオイ属 | 多年草（日本では越冬できないので1年草）アフリカ北東部原産 日本には暮末に渡来 果実(緑・赤・黄色 五稜や丸) 優れた緑黄色野菜 |
| 2 | カカオ (写真④⑤) | アオイ科 | カカオ属 | 常緑小高木 中南米原産 幹から直接花(1年中咲く)や実がなる 高温多湿で日除けになるシェイドツリーがある所に生育 食用・薬用・貨幣に使用 種子(カカオ豆 チョコレートの原料) |
| 3 | ヘクソカズラ | アカネ科 | ヘクソカズラ属 | つる性多年草 花(夏に中心部が赤紅色の白い小花を咲かす) 葉や茎など全草を傷つけると悪臭を放つことからの名 薬用 |
| 4 | リョウキュウアオキ (写真②④) | アカネ科 | ポチョウジ属 | 常緑低木 葉(革質) 常緑樹林の林床に生育 葉(アオキに似るが全縁無毛) 花(葉脇から白緑色の小さな花) 果実(冬に赤く熟す) |
| 5 | フィリダンチク | イネ科 | ダンチク属 | 多年草 ヨーロッパ原産 草丈2~4m 葉(長さ30~60cm 弓なりに曲がる 黄白色の縞入り) 日本には明治12年ごろ渡来 |
| 6 | チチミザサ | イネ科 | チチミザサ属 | 多年草 草丈10~30cm 葉の形がササに似てやや縮んだような皺があることからの名 引っ付き虫(芒に粘液が出てくっつく) |
| 7 | アリストロキアトリカウダタ(写真②) | ウmanoszukusaco | ? | 常緑小高木 メキシコ原産 花(蛸や烏賊の干物のような宇宙人のような不思議な形 ハエを呼ぶためにアンモニア臭を放つ) |
| 8 | カンアオイ | ウmanoszukusaco | カンアオイ属 | 多年草 日本固有種 茎(匍匐) 葉(互生 濃緑色で白い斑紋あり)花(地面に接するように花卉のない花が咲く)ギフチョウの幼虫の食草 |
| 9 | パンダカンアオイ | ウmanoszukusaco | カンアオイ属 | 多年草 中国原産・固有種 葉(ほぼ円形 不規則な白斑) 花(萼片の内側が2色で白黒パンダのように見える) |
| 10 | フタバアオイ (写真⑦) | ウmanoszukusaco | フタバアオイ属 | 多年草 日本固有種 京都加茂神社の葵祭で用いられるのでカモアオイの別名 葉(ハート型で2枚 秋に落葉) 花(基部に1個下向きに付く) 「葵の御紋」のモデル |
| 11 | ヒョウタン (写真③) | ウリ科 | ユウガオ属 | つる性1年草 アフリカ原産 かんびょうにするユウガオの変種 最古の栽培植物 容器・楽器。浮き・神具などに使用 |
| 12 | オミナエシ | オミナエシ科 | オミナエシ属 | 多年草 秋の七草 草丈60~100cm 葉(対生 羽状分裂) 花(夏から秋に黄色の5弁の小花を多数咲かす) 生薬 |
| 13 | カツラ | カツラ科 | カツラ属 | 落葉高木 雌雄異株 葉(ハート型の葉が特徴的で秋に落葉した葉は良い香りを放つ) 実(バナナの様) 現在中国と日本のみ残る |
| 14 | カンガレイ | カヤツリグサ科 | フトイ科 | 多年草 草丈30~140cm イグサに似る 茎(叢生で株立ち 3角の断面) 花(目立たない花を茎に直接つける) 生薬 |
| 15 | カンナ | カンナ科 | カンナ属 | 多年草 南アメリカ原産 草丈40~160cm 多様な種類、園芸品種がある 花色(原色で多様な色彩) 葉(変化に富む) |
| 16 | フジバカマ (写真⑨) | キク科 | ヒヨドリバナ属 | 多年草 秋の七草 草丈1~1.5m 葉(3深裂) 花(淡紫紅色) 全体に桜餅のような匂い 生薬・匂い袋・洗髪料・浴湯料に利用 アサギマダラが吸蜜 |
| 17 | オオバギボウシ | キジカクシ科 | ギボウシ属 | 多年草 草丈50~100cm 東アジア原産 葉(長さ30~40cm) 花(漏斗型 白・淡紫色 下向きに) 早春の若葉は山菜のウレイとして利用 |
| 18 | ヤブラン (写真⑥) | キジカクシ科 | ヤブラン属 | 多年草 草丈20~60cm 葉(濃緑色 線形 厚くて光沢あり) 花(淡紫色の小さな花を密に付ける) 薬用 |
| 19 | スズムシバナ (写真⑩) | キツネノマゴ科 | イセハナビ属 | 多年草 草丈30~60cm 近畿以西に分布 茎(4角形) 葉(対生 脈上に白い毛あり) 花(唇形 青紫色) 鹿の食害で減っている 鈴虫がなく頃に咲くことからの名 各県で絶滅危惧種に指定 |
| 20 | トウワタ | キョウチクトウ科 | トウワタ属 | 多年草 草丈0.5~1m 熱帯アメリカ原産 江戸時代に渡来 種に白い綿毛が付くことから「外来の綿」から「唐綿」に 花(色鮮やか) 傷を付けると白い乳液を出す |
| 21 | バイカモ (写真①) | キンポウゲ科 | キンポウゲ属 | 多年草の沈水植物 日本固有種 清流に生育 花(1~1.5cm ウメのような白い5弁花) 生育適温15°C 食用・薬用 |
| 22 | セツブンソウ | キンポウゲ科 | セブンソウ属 | 多年草 草丈10cm 日本固有種 「節分草」節分の頃に花が咲くことからの名 花(藤色がかった白色) 晩春には地上部は枯れ、球根で秋まで休眠する 石灰質の土壌を好む 準絶滅危惧 |
| 23 | ヤマコウバシ | クスノキ科 | クロモジ属 | 落葉低木 枝を折ると良い匂いがすることからの名 冬でも葉が「落ちない」ことにかけて受験生のお守りとして使われる |
| 24 | カゴノキ | クスノキ科 | ハマビワ属 | 常緑高木 樹皮(鹿の子模様) 葉(革質 光沢あり クスノキ科特有の香り) 花(雌雄異株) |
| 25 | クサギ | クマツヅラ科 | クサギ属 | 落葉小高木 枝葉をちぎる路独特の臭気あることからの名 果実は染料・若葉は食用・根は薬用に利用 |
| 26 | ハマナツメ(写真⑧) | クロウメモドキ科 | ハマナツメ属 | 落葉低木 海岸近くに生育 枝(棘あり) 葉(三行脈) 花(淡緑色の小花) 果実(食用不可) 生薬 絶滅危惧B類の絶滅危惧種 |
| 27 | インドボタイジュ (写真③) | クワ科 | イチジク属 | 常緑高木 仏教の発祥地インドの国花 葉(15~18cm 先端が尾状) 仏教三大聖樹:無憂樹(釈迦が生まれた所にあった木)・印度菩提樹(釈迦が悟りを開いた所にあった木)・沙羅双樹(釈迦がなくなった所にあった木) |
| 28 | シダレグワ | クワ科 | クワ属 | 落葉低木 マグワの園芸品種 枝が極端に下垂する |
| 29 | クワ | クワ科 | クワ属 | 落葉高木・低木 蚕の餌として古来より重要な作物 葉(様々な形) 果実(赤黒く美味) 生薬 中国では聖なる木 日本でも霊力を持つと考えられた |
| 30 | シロゴマ | ゴマ科 | ゴマ属 | 1年草 草丈1m アフリカ原産 花(夏に葉腋に白色の花を付ける) 果実(秋) 食用・生薬 日本は99%輸入 |
| 31 | サガリバナ (写真②③) | サガリバナ科 | サガリバナ属 | 常緑高木 別名サワフジ 熱帯・亜熱帯に生育 花(長さ20~60cmの花序が垂れ下がりが白・淡紅色の1日花を横向きに夜咲かす) |

| | | | | |
|----|-----------------|----------|-----------|---|
| 32 | ホウガンノキ | サガリバナ科 | ホウガンノキ属 | 落葉高木 南米ギアナ原産 花(幹から直接でる花序に芳香のある6弁花内側が赤 外側が薄黄色 蝙蝠で受精 1日花) 果実(12~25cm 茶褐色 砲丸のような形 悪臭あり) |
| 33 | チョロギ | シソ科 | イヌゴマ属 | 多年草 草丈60cm 中国原産 ハーブのような姿 花(紅紫色) 塊茎(長さ1~3cmの巻貝のような形これを塩漬けにしたり茹でて食べる おせちの縁起物 体温を下げる) 薬用 |
| 34 | カリガネソウ(写真⑨) | シソ科 | カリガネソウ属 | 多年草 別名ホカケソウ 草丈80cm 茎(4角形) 葉(対生 広卵型) 花(青紫色 湾曲した長い花柱と雄蕊が目立つ) 臭気あり |
| 35 | シモバシラ | シソ科 | シモバシラ属 | 多年草 草丈40~70cm 根からの水分が枯れた茎から沁み出して氷の花のような霜柱ができることで知られる 花(秋に白い穂状) |
| 36 | ミストラノオ | シソ科 | ミストラノオ属 | 多年草 低湿地に生育 草丈30~50cm 葉(3~4個ずつ輪生) 花(淡紅色 虎の尾に似た花穂) 絶滅危惧II類 |
| 37 | オオツクバネソウ | シュロソウ科 | オオツクバネソウ属 | 多年草 草丈20~40cm 日本原産 形状(茎頂に6~8枚の葉を輪生させ、中心から花柄を出し花を付ける) 花(紫色) |
| 38 | ツクバネソウ | シュロソウ科 | ツクバネソウ属 | 多年草 草丈15~40cm 茎頂に4枚の輪生した葉の中心部に黒い果実が付く様子を羽根突き羽根に例えた名 |
| 39 | ウコン | ショウガ科 | ウコン属 | 多年草 インド原産 葉(長い葉柄 長楕円形 無毛) 花(多数の苞葉からなる花穂) 根茎(肥大した濃黄色) 食用・薬用 |
| 40 | オニバス (写真③) | スイレン科 | オニバス属 | 1年生水草 浮水葉(円形 0.3~1.5m 表面光沢あり 著しい鋸と棘) 花(長い花柄の先に1個 閉鎖花と解放花) 果実(棘に覆われる) 絶滅危惧II類 食用・生薬 明石市で観覧会が催されている |
| 41 | ヒツジグサ | スイレン科 | スイレン属 | 多年性の浮葉植物 葉(沈水葉と浮水葉) 花(長い葉柄の先に1個の黄色の雄蕊の白い花 大きさ3~7cm) 日本に自生する唯一のスイレン 食用・薬用 |
| 42 | センベルセコイア | スギ科 | セコイア属 | 常緑針葉大高木 北アメリカ西部原産 樹高平均80m 樹齢400~1300年 樹皮(赤褐色で厚い) 枝(水平・下垂) 雌雄異株 トーテムポールの原材料 |
| 43 | ヒトリシズカ | センリョウ科 | チャラン属 | 多年草 草丈10~50cm 葉(茎の先端付近に4まいの葉が輪生状に付く) 花(白いブラシ状の花序を1本伸ばす) 生薬 |
| 44 | ミズヒキ | タデ科 | イヌタデ属 | 多年草 草丈30~80cm 紅白に見える花序が水引に似ることからの名 葉(初夏の頃「ハ」の字の模様が入る) 萼片が白いはギンミズヒキ |
| 45 | ツノゴマ | ツノゴマ科 | ツノゴマ属 | 1年草 草丈80cm 北アメリカ原産 葉(長い葉柄 腺毛密生) 花(淡ピンク色 釣鐘型) 果実(15cm 長い突起がツノのように伸び引っ付き虫に「悪魔の爪」と呼ばれる) 食虫植物 |
| 46 | ヤブツバキ | ツバキ科 | ツバキ属 | 常緑小高木 日本固有種 照葉樹林の代表的な種 葉(表面クラチナが発達して革質) 花(基部が合着して丸ごと落下) ツバキ油 |
| 47 | ヒメシャラ | ツバキ科 | ナツツバキ属 | 落葉高木 ナツツバキに似るが葉も花も小ぶり 樹皮(薄く滑らかな赤褐色) 葉(互生 毛あり) 花(白い5弁花 毛あり) |
| 48 | シロツリフネ (写真⑫) | ツリフネソウ科 | ツリフネソウ属 | 1年草 草丈50~80cm ツリフネソウの白色品種 花(下萼片の距が渦状に巻く 帆掛け船に似る花) |
| 49 | ノカンゾウ (写真⑬) | ツルボラン科 | ワスレグサ属 | 多年草 草丈70~90cm やや湿った場所に生育 葉(細長い線形) 花(橙色 ユリに似る 1日花) ヤブカンゾウは八重咲 薬用・食用 |
| 50 | シナアブラギリ (写真⑭) | トウダイグサ科 | アブラギリ科 | 落葉高木 中国原産 葉(大型 全縁のハート型が多い) 花(雌雄同株 白い花の中心が朱色) 種子(桐油が生産 有毒) |
| 51 | キャッサバ | トウダイグサ科 | イモノキ属 | 熱帯低木 キャッサバ芋はタピオカの原料 食用にするためには毒抜きが必要 全世界の生産量はジャガイモに次いで2番目 |
| 52 | トウゴマ | トウダイグサ科 | トウゴマ属 | 多年草 草丈1~2m 茎(中空 直立) 葉(互生 径20~30cm 掌状5~11中裂) 種子(ひまし油 アルカイド含む) 古来から薬用 |
| 53 | ケヤキ | ニレ科 | ケヤキ属 | 落葉高木 枝ぶりが整った帚状の樹形 日本を代表する巨木の一つ 葉(先端が尖り縁のギザギザが目立つ) 雌雄同株 |
| 54 | アメリカキササゲ | ノウゼンカズラ科 | キササゲ属 | 落葉高木 北アメリカ原産 花(直径3cm程 白地に紫色の斑点) 果実(長さ30cm) 生薬 明治に日本に渡来 |
| 55 | コバノキササゲ | ノウゼンカズラ科 | キササゲ属 | 落葉高木 中国南部原産 葉(互生 卵型) 花(5cm程の筒状花 白地に紫の斑点で中心部が橙褐色) 果実(長さ45cm程) 生薬 |
| 56 | トウキササゲ (写真⑯) | ノウゼンカズラ科 | キササゲ属 | 落葉高木 中国原産 葉(広い卵型 長い葉柄) 花(雌雄同株 キリのような淡いクリーム色) 果実(長さ30cm以上) 生薬 |
| 57 | ハナキササゲ | ノウゼンカズラ科 | キササゲ属 | 落葉高木 別名オオアメリカキササゲ 北アメリカ原産 花(白黄地に濃い紫色の斑紋と黄橙いろの筋) 果実(長さ20~40cm) 薬用 |
| 58 | パパイア (写真⑰) | パパイア科 | パパイア属 | 常緑性多年草 中南米原産 果実・野菜・ベトフード・食品添加物・洗剤・軟膏剤・薬草として利用される |
| 59 | オオカナメモチ | バラ科 | カナメモチ属 | 常緑中高木 葉(10~20cm 革質 新葉が展開すると古い葉は赤くなって落ちる) 日本では自生は稀 レッドロビンの片親 |
| 60 | キンミズヒキ (写真⑱) | バラ科 | キンミズヒキ属 | 多年草 草丈30~150cm 全体に粗毛が密生 葉(奇数羽状複葉) 花(黄色く小さな5弁花が穂状に密に列を作る) 果実(引っ付き虫) |
| 61 | バクチノキ | バラ科 | サクラ属 | 常緑高木 関東以西の暖地に生育 樹皮(古いものが絶えず剥がれ落ちる) 葉(バクチ水を含み咬止めや鎮痛剤に使用) 花(秋 白色) |
| 62 | ヒメサンショウバラ (写真⑲) | バラ科 | バラ属 | 落葉低木 中国南西部原産 古くに中国からイザヨイバラの原型とされる 花(ピンク 一重) 果実(クリのようなイガイガ) |
| 63 | メタセコイア | ヒノキ科 | メタセコイア属 | 落葉針葉高木 1属1種 樹高25~30m 1941年に中国西部で自生確認された 生きている化石 樹皮(赤褐色) 雌雄同株 秋に紅葉して枝ごと落下する 公園や街路樹として植栽 |
| 64 | イノコヅチ | ヒユ科 | イノコヅチ属 | 多年草 草丈1m 茎(4角形) 葉(対生 長さ15cm 両面に毛) 花(10~20cmの細長い穂状花序 緑色) 引っ付き虫 薬用 |

| | | | | |
|----|----------------|---------|----------|---|
| 65 | カニクサ | フサンダ科 | カニクサ属 | 夏緑つる性シダ植物 葉(1枚の葉 蔓に見えるのは葉軸 葉が無限成長する 栄養葉と胞子葉) |
| 66 | サラノキ | フタバガキ科 | サラノキ属 | 常緑高木 インド原産 日本の寺院に聖樹として植わっているのはほとんどナツツバキ 花(白色 良い香りを放つ) |
| 67 | キミノパンジロウ | フトモモ科 | パンジロウ属 | 熱帯木本植物 南アメリカ原産 要注意外来生物「黄実の蕃石榴」 実(黄色 レモン風味で酸味が強い 食用 グァバ) |
| 68 | イチイガシ | ブナ科 | コナラ属 | 常緑高木 雌雄同株 樹皮(剥がれ落ちる特徴) 葉(上半分に鋸歯 裏面は一面に星状毛あり) 果実(あく抜きせずに食用できる) 西日本の神社寺院に多い |
| 69 | ナラガシワ (写真④) | ブナ科 | コナラ属 | 落葉高木 雌雄同株 葉(カンワやナラより大きい 葉柄が長い 冬になっても古い葉が枝に残る) 樹皮(カプトムシが集まる木) |
| 70 | ユサン | マツ科 | アブラソギ属 | 常緑針葉高木 別名アブラソギ(材に油が多いためだがマツなのにスギと名乗る) 中国・台湾原産 葉(カヤに似るが柔らかくより光沢あり) 松ぼっくり(葎20cm 直立) |
| 71 | ヒラヤマソギ | マツ科 | ヒラヤマソギ属 | 常緑針葉高木 スギ科でなくマツの仲間 ヒマラヤ山脈西部原産 樹冠は円錐形 葉(2.5~5cm 灰色がかかった暗緑色) ヒンドゥー教では聖なる樹木として崇拝されてきた 1879年日本に渡来 |
| 72 | ストロブマツ | マツ科 | マツ属 | 常緑針葉高木 北米大陸北部原産 五針葉(長さ5~13cm 青みがかった緑色 葉の寿命18ヶ月) 成木になるまで200~250年かかる |
| 73 | テダマツ | マツ科 | マツ属 | 常緑針葉高木 北米東南部原産 三針葉(長さ10~15cm 湾曲する 2年の寿命) 雌雄同株 テダは樹脂が多いという意味 |
| 74 | バンクスマツ | マツ科 | マツ属 | 常緑針葉高木 北米大陸北部原産 二針葉(長さ2~4cm) 雌雄同株山火事の発生が更新を促す 強い熱を受けないと開かない球果 |
| 75 | シナサイカチ (写真⑩) | マメ科 | サイチカ属 | 落葉高木 中国原産 幹(鋭い刺あり) 葉(互生 偶数羽状複葉) 果実(長さ20~30cm サボニン含有) 果実や棘を漢方薬に利用 |
| 76 | タヌキマメ (写真⑬) | マメ科 | タヌキマメ属 | 1年草 草丈30~100cm 全体に褐色の毛あり 茎(直立 線形) 花(青紫色 蝶形 1日花) 果実(長い楕円形 毛が密生) 有毒植物 |
| 77 | ウヅルカンダ | マメ科 | トビカズラ属 | 常緑つる性植物 別名イルカンダ 日本では琉球列島、大分鹿児島花(長さ30cm 暗紫色) オオコウモリ(沖縄)・テン・ニホンザル(九州)が蜜を求めて来て受粉する 豆果(広線形で扁平 さや50cm 大きさ25~30mm) |
| 78 | トビカズラ(写真⑭) | マメ科 | トビカズラ属 | 常緑つる性植物 中国長江原産 熱帯性 花(暗紫色の蝶形) 実(大粒のブドウの房の様 棘があり触れると細かい刺が無数にささる) 自生地は熊本県に樹齢1000年を超える国の特別天然記念物の木と長崎の時計島に、2カ所あるのみ |
| 79 | フジカンゾウ(写真⑱) | マメ科 | ヌスピトハギ属 | 多年草 草丈15~120cm 別名フジクサ 葉がカンゾウに花がフジに似ることからの名 実(ヌスピトハギそっくりで大型) |
| 80 | マキエハギ(写真⑲) | マメ科 | ハギ属 | 落葉小低木 樹高40~60cm 葉(3出複葉) 花(小さな白色 蝶形 基部に赤紫の模様) 花柄が蒔絵の優美な筆の運びを思わせることからの名 |
| 81 | フジ | マメ科 | フジ属 | つる性落葉木本 日本固有種 向日性植物 蔓(左巻き 繊維で蔭布を作る) 葉(互生 奇数羽状複葉 長さ20~30cm 夜間は葉をすぼめる) 花(100cmにも達する) 豆果(10~20cm) 万葉集に27首 |
| 82 | ヤマフジ | マメ科 | フジ属 | つる性落葉木本 日本固有種 蔓(右巻き) 花(花穂がフジのように長く伸長しなくて球形に近い フジより紫色が濃い 白色もあり 10~20cm) 葉(奇数羽状複葉 長さ15~25cm) |
| 83 | ベニバナトキワマンサク | マンサク科 | トキワマンサク属 | 常緑小高木 中国原産 全体に星状毛が密生 花(紅紫色 花弁4枚 長さ2cm程の紐状) 葉(春きれいな赤色、夏を過ぎると緑色も赤褐色) |
| 84 | カラタチ | ミカン科 | カラタチ属 | 落葉低木 長江上流域原産 日本に8世紀渡来 枝(大きくて鋭い刺が互生する) 葉(3出複葉 アゲハチョウの幼虫の食草) 薬用 |
| 85 | レモン | ミカン科 | ミカン属 | 常緑低木 ヒマラヤ原産 枝(棘あり) 葉(厚みがある アゲハチョウの幼虫の食草) 花(白・ピンクの5弁花) 果実(約半年で成熟 ビタミンC・クエン酸含む) |
| 86 | ゴンズイ | ミツバウツギ科 | ゴンズイ属 | 落葉小高木 葉(対生 奇数羽状複葉 長さ23cm) 花(黄緑色の地味な花) 果実(鮮紅色の果皮と黒色の種子が目立つ) 木肌が魚のゴンズイに似ることからの名? |
| 87 | ガガブタ (写真⑥) | ミツガシワ科 | アサザ属 | 多年草 葉(浮葉) 花(1日花 5深裂の花冠の内側に白長毛が密生 中心は黄色) かがみ・ふた(鏡蓋)が由来の名 準絶滅危惧(NT) |
| 88 | レイ (写真⑳) | ムクロジ科 | レイシ属 | 落葉高木 1属1種 中国原産 葉(奇数羽状複葉) 花(黄緑色) 果実(ライチ 生食 楊貴妃がこよなく愛した果実) |
| 89 | マルバチシャノキ (写真⑰) | ムラサキ科 | チシャノキ属 | 落葉小高木 チシャはレタスのことで若葉を食べるとレタスのような味がするので 葉(楕円形ざらつく) 実(黄色 バナナの風味で食用) |
| 90 | アマミヒラギモチ (写真①) | モチノキ科 | モチノキ属 | 常緑低木 葉(互生 革質 モクセイ科のヒイラギに似る) 雌雄異株 |
| 91 | ナナミノキ | モチノキ科 | モチノキ属 | 常緑高木 別名ナナミノキ 雌雄異株 モチノキと同様樹皮からはトリモチが採取された 果実(赤色) 葉を熱すると死環が現れる |
| 92 | ノシラン (写真⑮) | ユリ科 | ジャノヒゲ属 | 多年草 「熨斗蘭」 葉が熨斗に似ることからの名 葉(線状) 花(莖を真っ直ぐに立て紐状の白い花をたくさん咲かす) 果実(コバルトブルー) |
| 93 | コンテリクラマコケ | ? | ? | コケと名付けられているがシダ植物 深い青緑色の光を発しているように見え、周りとは違った雰囲気を感じ出している 「紺照り鞍馬ゴケ」 |

昆虫綱

| | | | | |
|---|--------------|---------|------------|---|
| 1 | アオスジアゲハ | アゲハチョウ科 | アオスジアゲハ属 | 大きさ32～45mm 黒字に青白い筋が一本入る オスは湿った地面で吸水 幼虫の食草はクスノキ・タブノキ・ニッケイなど |
| 2 | アオモンイトトンボ | イトトンボ科 | アオモンイトトンボ属 | 大きさ30～35mm 胸部側面が美しい淡緑色で腹部が青色 池沼・水田・湿原に生育 メスは色彩の異なる2型あり |
| 3 | ハグロトンボ (写真⑫) | カワトンボ科 | アオハダトンボ属 | 大きさ53～68mm 他のトンボのように素早く飛翔したりホバリングしない 止まっているときも4枚の羽を重ねて閉じる 河川の岸辺 |
| 4 | ツユムシ (写真⑬) | キリギリス科 | ツユムシ属 | 大きさ29～38mm 全身鮮やかな緑色 在来種 草食性 緑色の細長い体に折れそうに見える細くて長い後ろ脚で華奢な感じ |
| 5 | ムラサキシジミ | シジミチョウ科 | ムラサキシジミ属 | 大きさ14～22mm 翅(表が青紫色に輝く 裏は茶色) 成虫で越冬 幼虫(食草はブナ科の葉 アメリアリをコントロールする) |
| 6 | ヒメアカネ (写真⑧) | トンボ科 | アカネ属 | 大きさ28～38mm 国内の赤とんぼで最小の種 湿地・水田に生育 雄(成熟すると腹部が赤化して顔は白くなる) |
| 7 | ギンヤンマ | ヤンマ科 | ギンヤンマ属 | 大きさ74～82mm 腹部第3節の下部が銀白色からの名 オス(胸部が黄緑色で腹部の付け根が青色) 池沼・水田に生育 |

両性綱

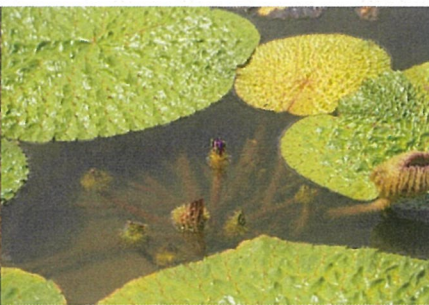
| | | | | |
|---|-------|--------|------------|--|
| 1 | ウシガエル | アカガエル科 | アメリカアカガエル属 | 体長11～18cm 北米原産 夜行性 食肉性 別名食用ガエル 世界及び日本の侵略的外来種ワースト100に選ばれている |
|---|-------|--------|------------|--|



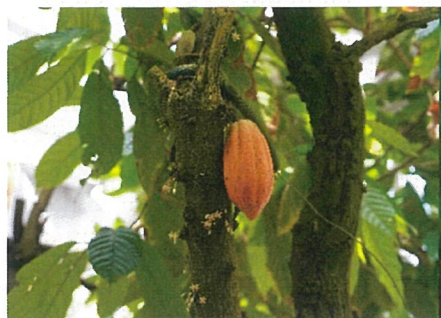
①アマミヒラギモチ



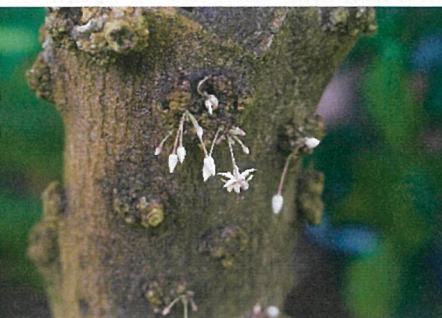
②アリストロキアトリカウダタ



③オニバス



④ カカオ



⑤カカオの花



⑥ガガブタ



⑦バイカモ



⑧ヒメアカネ



⑨カリガネソウ



⑩スズムシバナ



⑪赤色のツリフネソウ



⑫白色のツリフネソウ



⑬タヌキマメ



⑭ノカンゾウ



⑮キンミズキヒ



⑩ノシラン



⑪マルバチシャノキ



⑫ハセナツメ



⑬フジバカマ



⑭マキエハギ



⑮瓢箪棚



⑯瓢箪棚



⑰ヒョウタン



⑱リュウキュウアオキ



⑲半木神社



⑲半木神社



⑳フタバアオイ



㉑京都府立植物園内



㉒トウアブラギリ



㉓レイシ



③① トウサイチカ



③② サガリバナ



③③ サガリバナ



③④ インドボタイジュ



③⑤ 温室



③⑥ 温室



③⑦ 温室



③⑧ 温室



③⑨ フジカンゾウ



④⑩ トビカズラ



④⑪ ヒメサンショウバラ



④⑫ ハグロトンボ



④⑬ 京都府立植物園内



④⑭ ナラガシワ



④⑮ ヤブラン



④⑥ トウキササゲ



④⑦ パパイア



④⑧ パパイア



④⑨ ツユムシ



⑤⑩ 京都府立植物園内



京都府立植物園北門

